# 公園施設長寿命化計画策定指針を用いた 計画策定の進め方

本資料は、地区公園を事例に、指針で示す各段階における実際の作業について、留意事項を挙げながら計画策定の進め方をまとめたものであり、各地方公共団体における公園施設長寿命化計画策定の参考とされたい。

1.	予備調査の進め方	 • • 1
2.	健全度調査と健全度・緊急度判定の進め方	 • • 18
3.	公園施設長寿命化計画の策定の進め方	 38
4.	公園施設長寿命化計画書の作成の方法	 • • 51

# 1. 予備調査の進め方

みどり公園において、予備調査の進め方を例示する。

# 1) 公園概要

名 称:みどり公園

所 在 地:白砂市青松町1-1 設置年月日;平成2年5月21日 沿革の概要:公園の供用開始公告

平成2年5月21日白砂市公告第100号

敷地面積:40,000 m²

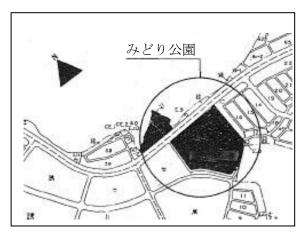


図-1 みどり公園位置図

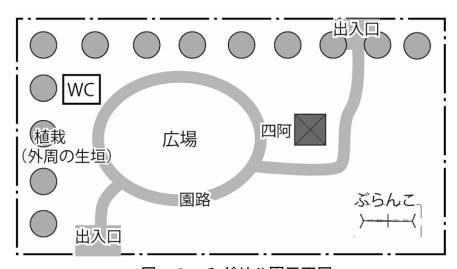


図-2 みどり公園平面図

# 2) 既存都市公園台帳の収集と整理

- ・みどり公園における都市公園台帳や公園施設台帳、設計図・工事図書 (竣工図)等(以下、都市公園台帳等)をとりだし、設置施設ごとに 以下の情報を整理する。
- ·公園名称、種別、面積、開園年度等、施設種別、製造者、設置年数

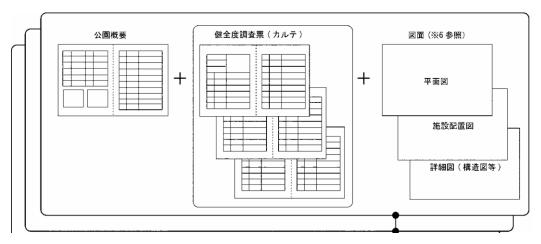


図-3 公園台帳の収集と整理のイメージ図

表—1	公園台帳の収集と整理のイメ-	ージ
-----	----------------	----

X , AMI	一,,,	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	有無	備考
公園台帳	0	更新履歴無し
施設の整備図面	0	更新履歴無し
施設の有無	Δ	要確認
施設の製造者	×	ほとんど不明
施設の整備費	×	ほとんど不明
補修履歴	×	記録無し
維持管理費	×	3年前まで維持管理費有
利用状況	×	資料無し
市民のニーズ	×	資料無し

# 3)予備調査段階における管理類型の整理

- ○都市公園は多種多様な施設の複合体であり、公園の規模によっては膨大な数の公園施設について調査が必要になることから、全ての施設についてライフサイクルコストを算出した上で、予防保全型管理又は事後保全型管理の管理類型を判断することは、計画策定の作業に過度な負担となる。
- ○計画準備の段階で、ライフサイクルコストの縮減効果の見込み、安全性の継続的な確保、利用者数、公園の利用促進などの視点で公園施設を整理することで、あらかじめ予防保全型管理を行う候補となる公園施設と事後保全型管理を行う公園施設に分類するとともに、その整理・類型結果を健全度調査票(公園概要シート)に記入する。

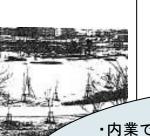
## 4) 健全度調査票(公園概要シート)の作成

表―2 健全度調査票(公園概要シート)

1.	公園概要				_	
		公園棚	要			
1	名 称	みどり公園	② 所在	E地	白砂市青松町 1-1	
3	設置年月日	平成2年5月21日	④ 沿革の概要		公園の供用開始公告 平成2年5月21日 白砂市公告第100号。	
	敷地総面積	40, 000 m <sup>2</sup>				
	土地所有者	白砂市				
<b>⑤</b>	所有者別面積	40, 000 m <sup>2</sup>				
	公園管理者の 有する権原					
6	公園施設として設けら 及びその他の主要な公			管理事務	所(建築面積:●●㎡)	
7		<b>対地面積に対する割合</b> )		●●%		
		第6条第1項及び第2項に の敷地面積に対する割合		該当区域ではない		
8	運動施設面積総計の敷	地に対する割合		●●%		
9	⑨ 主要な占用物件について (※2 参照)				所(鉄筋コンクリート造) i : ●●㎡	
10	公園一体建物の概要					
11)	公園の重要度特に重	要な公園 ・その他の身泊	近な公園	理由:●	●●なため	

- ※1 イ)種類及び名称 ロ)工作物であるものはその構造 ハ)建築物であるものはその建築面積 二)運動施設については、その敷地面積 ホ)都市公園法第5条第1項の許可を受けたものについては、当該許可を受けた者の氏名及び住所(法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び住所)並びに当該許可により当該公園施設を設け、又は管 理する期間の初日及び末日
- ※2 イ)種類及び名称 ロ)構造 ハ)建築物であるものについては、その建築面積 ニ)都市公園法施行規則第8条第2項の規定 により算定した既設の地下占用物件の占用面積の総計の当該都市公園の敷地面積に対する割合 ホ)都市公園法6条第1項又 は第3項の許可を受けた者の氏名及び住所(法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び住所)並びに当該許可による占 用の期間の初日及び末日

■ 現況写真



■ 位置図(S=1/10,000)



・内業であらかじめ予防保全型管理を行う候補に 「O」を、事後保全型管理に「×」をつける。

・「〇」「×」をつけることで、予備調査のボリューム を把握し、調査工程をイメージする。

・なお、この時点で、「O」か「×」不明な施設につ いては、ひとまず「〇」とする。

※既存の公園台帳が整っている場合は作成せ ずに、既存の公園台帳を活用してよい。

	2.	公園施設	及び健全度の	調査対象旅	E設		
	No	公園施設 種類	具体的 施設名称	数量	主要部材	予防〇 事後×	備考
	1			1,000 m <sup>2</sup>	洗い出しコンクリート	×	
	2	a.	舗装	400 m²	コンクリート平板	×	見地に行くまで
	3	園路		300 m²	タイル張り 舗装	/	形材が確認でき
	4	広場	階段	20 段			よい場合がある
	5		PER	2 段	·	0	
	6	b.	植栽	2,000 m²	雑木林の樹林地	_	
	7	修景		400 m²	外周植栽	_	
	8	施設	噴水	1式	鉄筋コンクリート、タイル・自然石、 循環設備、電気設備	/	見地に行くまで
	9		四阿	1 基			部材が確認でき ない場合がある
	10	c. 休姜	パーゴラ	3 基			まで・一切 日 カ・の の
	休養   11   施設		ベンチ	15 基		0	
	12			7基	\/	0	
	13		ぶらんこ	1基	鋼材	0	
	14	d.	滑り台	1基	鋼材	0	
	15	遊戯	複合遊具	1基	鋼材、FRP		
	16	施設	砂場	10 m²	コンクリート	_>	内業であらかじめ作成。
	17		スプ゚リンク゛ 遊具	2 基	FRP、スプリング		現地で把握により、訂正 や追記をする。
	18	e.	競技場 (トラック)	1式	[[]	0	1,2,20,00
	19	運動 施設	プール	1式	鉄筋コンクリート、電気設備、 循環設備	0	
	20	f.	水飲み場	3 基			
	21	便益	便所	1棟	<u></u>	0	
	22	施設	駐車場	500 m²	127711	×	
	23		管理事務所			0	
	24	g		1橋	()	0	
	25		<b>雅壁</b>	200m	コンクリート	0	
			フェンス	300m		0	
	27		車止め	10 基		0	
\	28	h. 災害応急 対策施設	備蓄倉庫	1 棟		0	調査票記入
)	29	i. その他	展望台	1 基		0	1. 公園概要を記入 2. 公園施設を記入

#### 5) 予備調査内容

#### a. 調査準備

- ○都市計画図や地図を活用し、現地で確認する公園の位置や区域を把握し、 調査ルート等(図-4)を整理する。
- ○現地に持参する公園施設等が記載された平面図等(図-5)を準備する。

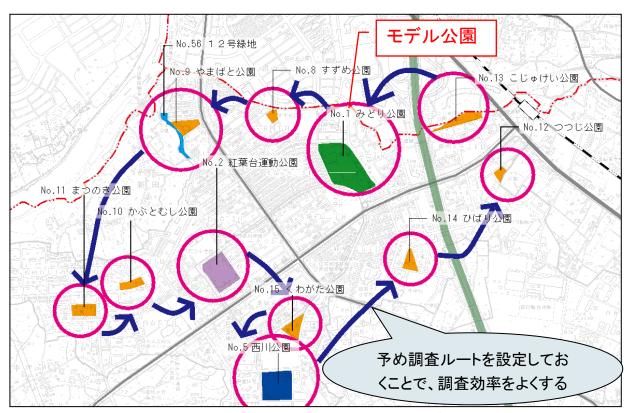


図-4 調査ルートの設定イメージ図

#### 6) 現地での現況把握

#### b. 調査実施

- ○外周を一周し、公園区域の変更の有無を確認する。
- ○調査時点での公園施設の有無、増減、利用休止等の状況を把握する。
- ○公園内外及び各公園施設の状況を撮影する。
- ○公園利用状況、劣化や損傷の状況を把握する。
- ○公園施設の状況把握は、健全度調査票の作成(記入内容をイメージしながら)を意識しながら実施する。
- ○利用者や施設管理者から施設の維持管理等に係る要望がある場合は重 点的に確認する。
- ○使用休止している施設等を確認する。(使用再開までの期間は、事後保 全型管理として扱う)

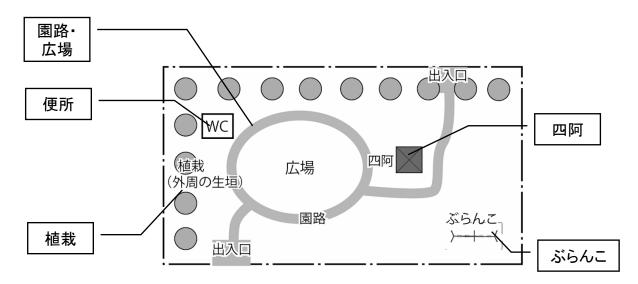


図-5 みどり公園平面図

## □ 現地で把握する際の視点(例)



写真-1 園路広場(舗装)

#### 部材を確認

予め事後保全型に類型した施設は健全度調査を 行わないため、予備調査における劣化の把握が 重要

舗装の劣化範囲を大まかな割合(25%、50%等) を把握する

健全度調査票の作成を意識しながら施設の大き さ、主要部材など、健全度判定に必要な情報を把



写真-2 便益施設 (便所)

施設の有無、確認



公園台帳に記載されていた 四阿のイメージ

握することが効率的

現地で確認された四阿のイメージ

竣工時から台帳の図面が更新されていない場合等、台帳の記載に 不備が生じてないか確認が必要。

写真-3 休養施設(四阿)



施設の有無の確認

竣工時から台帳の図面が更新されていない場合等、台帳の記載に 不備が生じてないか確認が必要。

写真-4 遊戯施設(ぶらんこ)



生育状態を確認

植栽地ごとに特性を踏まえた管理内容をイメージ

植栽は、予防・事後の判定をしない

公園ごと、植栽地ごとに管理目標を設定

写真-5 修景施設(植栽:外周の生垣)

事前に整理した健全度調査票(公園概要シート)に予備調査で得た情報を追記する。

# 表―3 健全度調査票(公園概要シート)

あらかじめ事後保全型に類型した施設は、健全度調査は行わないため、予備調査で把握 した施設の状況について、健全度調査票(公園概要シート)の備考欄に記録し、事後保 全型管理の施設カルテとして活用する。

1.	公園概要				至型'	官埋のカ	他設刀ル	テとして活	用する。			
		公園	概要			No	公園施設 種類	具体的 施設名称	数量	主要部材	予防〇 事後×	備考
1	名 称	みどり公園	② 所在地	白砂	市青松町 1-1	1			1,000 m²	洗い出しコンクリート	×	正常
3	設置年月日	平成2年5月21日	④ 沿革の概		O供用開始公告 2年5月21日	2	a.	舗装	400 m²	コンクリート平板	×	全体の 50%ががたつき
				白砂市	万公告第 100 号。	3	園路		300 m²	タイル張り舗装	×	全体再整備が必要
	敷地総面積	40,000 m <sup>2</sup>				4	- 広場	nile en	20 段	タイル張り舗装	×	異常なし
	土地所有者	白砂市				5		階段	2 段	擬石階段ブロック	×	表面ひび割れ
<b>⑤</b>	所有者別面積	40, 000 m <sup>2</sup>				6		LLL	2,000 m <sup>2</sup>	雑木林の樹林地	_	植栽地概要表参照
	公園管理者の					7	b.	植栽	400 m²	外周植栽	_	植栽地概要表参照
<u>(6)</u>	│有する権原 │ │ ○公園施設として設け	これる建筑物				8	修景施設	噴水	1式	鉄筋コンクリート、タイル・自然 石、	0	
0	及びその他の主要な		管理	里事務所(建	築面積:					循環設備、電気設備		
	建ぺい率	· ***	•	%	基数だけでなく対	見模も		III. Kaf	1基(12 m²)	木、鋼材、鉄筋コンクリート	0	
7	(建築面積の総計の   建ペい率	)敷地面積に対する割合)			確認し、追記する	3	<b>/</b> 休養	パーゴラ	3 基 (20 m²)	鋼材、鉄筋コンクリート	0	the feet to a state of the control o
	(都市公園法施行令	1第6条第1項及び第2項 十の敷地面積に対する割合		<b>当区域ではな</b>	V	11	施設	ベンチ	15 基	木、鋼材	×	広範囲に脚部鋼材が腐食
8	運動施設面積総計の		•	<b>)</b> %		12			左	木	×	座面劣化
9	主要な占用物件につ		管理	里事務所		·- F	<del></del>	ぶらんこ	1 基	鋼材	0	
	工安な口用物件にク		建築	整面積(	部材を追記したもの		)   d	滑り台	1 基	鋼材	0	
10	公園一体建物の概要					15	遊戲	複合遊具	1 基	鋼材、FRP	0	
(1)	公園の重要度 特に	チェムハ国 ファルット	いにより国ニ田	h 0003	J- 14	16	施設	砂場	10 m²	コンクリート	0	
		重要な公園 ・その他の身物であるものはその構造 ハ)風		由: ●●●な その建築面積	<i>(C &amp;)</i>	17		スプ゚リンク゛ 遊具	2 基	FRP、スプリング	0	
	の氏名及び住所(法人にあ	この敷地面積 ホ)都市公園法第 っては、その名称、代表者の氏				18	e. 運動	競技場 (トラック)	1式	ウレタン舗装	0	
		: ハ)建築物であるものについ				19		プール	1式	鉄筋コンクリート、電気設備、 循環設備	0	
	は第3項の許可を受けた者	「占用物件の占用面積の総計の当 「の氏名及び住所(法人にあって				20		水飲み場	3 基	擬石コンクリート	×	正常だがバリアフリー仕様でない
	用の期間の初日及び末日 現況写真			0.000)	赤字	1寸钼铀:	〜 での把握	- T	1 棟	鉄筋コンクリート	0	
-	2000 3 27	7		みどり公	/		事後の類	\	500 m²	アスファルト	0	
		_ B = G	1	かとり五		」。。 ったもの		± _	1. 棟	鉄筋コンクリート	0	
極					***************************************			橋	1橋	<del>上中一</del>	0	
	TAME I	1 1020		12 :		25	管理	擁壁	200m	コンクリート、 H=1.0m	×	
			(CL	244		26	施設	フェンス	300m	鋼材	×	塗装劣化
				The second	A COL	27		車止め	10 基	アルミ	×	正常だが、1基変形
						28	h. 災害応急 対策施設	備蓄倉庫	1 棟	コンクリートフ゛ロック	0	
		II.	7		* Kinds.	29	i. その他	展望台	1 基	鉄筋コンクリート	0	

#### 7) 予備調査の段階における管理類型

予備調査を行った結果、

- ・事後保全型管理とした施設:1施設
- ・予防保全型管理を行う候補とした施設:3施設
- ・予防保全型管理を行う候補でも事後保全型管理でもない施設: 植栽に決定した。

予防保全型管理を行う候補とする施設については、健全度調査票(各施設 シート)を作成する。

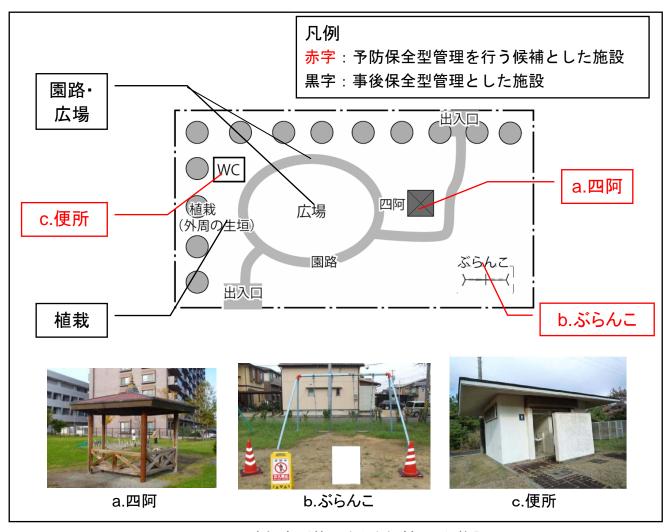


図-6 予防保全型管理を行う候補とした施設

# 表―4 健全度調査票(各施設シート)

施設の概要を記入

	健全度調査票 (-	一般施到
No.	9	
公園名	みどり公園	
公園施設種類	休養施設 (一般施設)	The same of the sa
公園施設名	四阿	
施設コード	$9 - c - 0 \ 0 \ 0 \ 1$	
数量	1 棟	
規模	12. 0m²	
主要部材	木製	
設置年度	H2 年度	
経過年数	22 年	
処分制限期間	22 年	4.4
管理類型	予防保全型を行う候補	
		-



撮影日 平成 23 年 5 月 10 日

管理者の意向

利用・管理状況と 一般的な公園の管理レベルで管理している公園の施設である。

# 健全度調査票(各施設シート)の概要欄への記入(例)

バリアフリー法

その他健全度判定における特記事項

健全度の評価(A>B>C>D:Aが一番健全) 調査日(第1回)平成 年 月 日 A・B・C・D 指標考慮 高・低緊急度判定 高・中・低 健全度判定 利用禁止の判定 利用禁止とする 利用禁止としない 劣化状況 部材 構造材 消耗材 美観状況

		Ē	墹괍	日(第	2 回

※遊具及び予防保全型管理を行う候補の施設のみ作成。

		調食	1(第 2	2 回)	平成 年				
健全度判定	$A \cdot B \cdot C \cdot D$	指標考慮	高•		緊急度判定	高・中・低			
利用禁止の判定	利月	 用禁止とする	•		 利用禁止とした	ない			
並材	構	 造材				 材			
記地で撮影した写真を 話付する									
		美観状況							
	tる特記事項								
		調本 [	 ∃(第3	(네)	平成 年	月日			
	$A \cdot B \cdot C \cdot D$	指標考慮	高・		<sup>平)及 平</sup>	高・中・低			
 利用禁止の判定		用禁止とする			利用禁止とし				
13711372-10 1372	1.0	劣化状況			10,10,71,200				
 部材	構			消耗材					
		美観状況							
	1 7 4+ == == -T					_			
その他健全度判定におけ	「も特記事項								

予防保全型管理を行う候補とした施設及び遊具については、健全度調査票(各施設シート)を施設ごとに作成し、概要欄を記入をする。



図-7 健全度調査票(各施設シート)の作成イメージ

# 2. 健全度調査と健全度・緊急度判定の進め方

a. 四阿、b. ぶらんこ、c. 便所を例に健全度調査・判定方法について以下に示す。

#### 施設ごとの健全度調査ポイント

次に、代表的な公園施設である、四阿、ぶらんこ、便所の健全度調査・判定の 視点を以下に例示ずる。

凡例

赤字: 健全度調査の対象とした施設 黒字: 健全度調査の対象としない施設

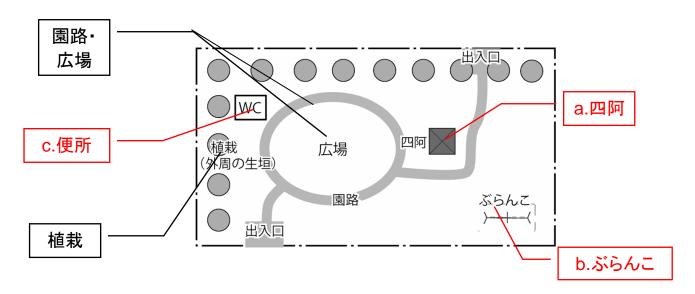


図-8 健全度調査・判定方法を例示する施設

# a. 四阿

- ○一般施設(四阿、パーゴラ等)の調査は、対象施設の全体及び主要部材について、劣化状況を目視で確認する。
- ○必要に応じて揺り動かして締め付け具合の良否についても確認する。

#### ●健全度調査の主なポイント

- ・ 本体のゆがみ、傾き、変形等の状況
- ・ 支柱、梁等のぐらつき、腐食、破損、変形状況
- ・ 異常を示す亀裂の有無
- ・ 鉄筋の露出、腐食の有無
- ・ 屋根材の腐食、破損、変形状況
- ・ 継ぎ手金具等の腐食、破損、固定状況

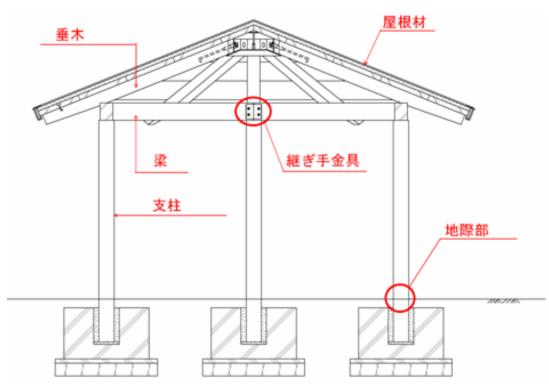


図-9 一般施設の調査着目位置

# 梁接合部の腐食



支柱部の腐食



梁部鋼材露出



地際部腐食



梁接合部の腐食



ルーバーの腐朽、破損



接続金具腐食



屋根部腐食



写真-6 四阿の異常の判定例

表-5 a. 四阿(健全度判定:B)の事例

施設	名			四阿			経過	年数	22年
健全度	判定	В							
			全体写真					コメント	
	梁部:				<b>文柱</b> 8 支柱(地際	):B	るが、各/ 劣化は見	こ劣化が進 マ軽微ない。? が望ましい。	り、著しい 状況に応
				損傷	<u>写真</u>		l		
部材名	·	部	写真番号	1	部材名	屋	根	写真番号	2
材質	オ	7	健全度	В	材質	7	木	健全度	В
コメント	梨材の一部	部が劣化し	ている		コメント	全体的に発生してい	変色してま いる	らり、部分的	に損傷に
部材名	支		写真番号	3	部材名		(地際)	写真番号	
材質		7	健全度	В	材質	7	木	健全度	В
T <sub>rh</sub>		引れが生じ	TINZ			₩ 欧立r~	<b>取</b> 241.7℃ 中 +	F43841	
コメント	歯の広いき	割れか生じ	くいる		コメント	地除部で	性似な腐れ	万が発生し <sup>-</sup>	にいる

表 - 6 a. 四阿の健全度調査結果(各施設シート)

	健全度調査票(	一般施設)	]			調査日(第2	回)平成 年 月 日
No.	<u> </u>			健全度判定	$A \cdot B \cdot C \cdot D$	指標考慮高・信	私 <b>緊急度判定</b> 高・中・
NO. 公園名	 みどり公園	-		利用禁止の判定	利	用禁止とする・	利用禁止としない
公園施設種類						劣化状況	
公園施設名	四阿			 部材	構	造材	 消耗材
施設コード	9 - c - 0.001			Ar 13		1211	7134 0 1 3
数量	 1 棟						
規模	20. 0m <sup>2</sup>						
主要部材	木製	and the second second					
設置年度	H2 年度						
	22年						
現地で判定し、内	1, 1, 1						
他の施設の判定と照らし合わせな	ID // (144-277) // (194-194-194)	- 撮影日 平成 23 年 5 月 10 日					
総合調整する		管理している公園の施設である。	1				
官主	が国の自産レベルで	日生している五圏の肥政(める。				美観状況	
	準適合状況(安全指針、バリ	Jアフリー法)への適合 		フの仏法人内側ウになり			
安全指針	指針適用外			その他健全度判定におけ	で おおり おおり かんぱん かんかん かんしゅう かんしゅ しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん		
バリアフリー法	バンフリー法適用外					=III → F   / htt o	
健全度の評価(A	A が一番健全)	調査日(第1回)平成23年5月10日				調査日(第3	
健全度判定	A(B)C·D 指標表	考慮 高 低 緊急度判定 高・中 低		健全度判定	$A \cdot B \cdot C \cdot D$	指標考慮高・	氐 <b>緊急度判定</b> 高・中・
				調査結果を	利	用禁止とする・	利用禁止としない
利用禁止の判定			部材ご	とに記入		劣化状況	
	劣化状》 ————			部材	構	造材	消耗材
部材	構造材構造材	消耗材					
屋根	/全体的に変色しており、	、部分的に 異常なし 異常なし		1.			
	損傷に発生している	共市なし		は場合は			
 梁部	梁材の一部が劣化してい	73	<b>美常</b> /	はしと記入			
		異常なし					
 支柱	幅の広い割れが生じてい	13					
		_	<u> </u>	が存在しない			
	地際部で軽微な腐朽が	発生してい	場合	は「一」とする			
	\$	/\					
		<sup>-</sup>   <u>\</u>				美観状況	
横桟の塗装の劣化が	ば目立つため、構造材の補修の時			この	+2性司事で		
その他健全度判定	における特記事項			その他健全度判定におけ	の付記事項		
 全体的に劣化が進行	fしているが、軽微であり、著し	い劣化は見られない。状況に応じて防腐剤の	力去人士	c=□★v+□ ヘ=¬ ¬			
	対補修が望ましい。		▮健全戊	<b>モ調査結果の記入</b>			

# b. ぶらんこ

- ○遊具等施設は、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針(改訂版) (平成20年8月国土交通省)」に基づき、部位・部材ごとに、年1回以上 の定期点検を実施することとされており、この定期点検結果を長寿命化計 画検討の健全度調査としてよい。
- ○改めて健全度調査を行う場合の手順などを以下に示す。

#### ●健全度調査の主なポイント

- ・ 支柱、梁、手すり等のぐらつき、腐食、破損、変形状況
- ・ 表面のささくれ等の突起
- ・ 異常を示す亀裂の有無。
- ボルト類のゆるみ、脱落
- ・継ぎ手部の腐食、破損、固定状況
- 塗装劣化
- ・ 可動部、吊金具の摩耗、破損
- ・ 座板、滑降部等の腐朽、破損

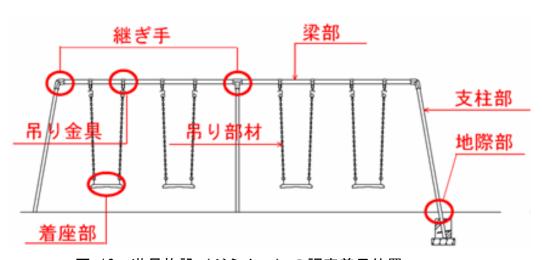


図-10 遊具施設(ぶらんこ)の調査着目位置

継ぎ手金具の破損



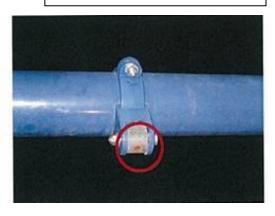
吊金具の摩耗



吊金具のずれ



吊金具の破損



金具の摩耗



金具摩耗と座板の腐朽



写真-7 遊具の異常の判定ポイントの例

表-7 b. ぶらんこ(健全度判定:B)の事例

م حار	<b>设名</b>	্	らんこ	•	<b></b>	過年数	22年
健全周	度判定 B						
	<u>-</u>	全体写真				コメント	SS// /= .
支柱	非金具 b 梁部	支柱(地際)。B		吊部村	いるが 軽微で 期点検	に塗装劣化が 、錆の発生は あるため、、全 の結果により が望ましい。	部分的で 後の定
			損傷				
部材名	梁部	写真番号	1	部材名	継手部	写真番号	2
材質	鋼	健全度	В	材質	鋼	健全度	В
					7		,
コメント	全体的に塗装劣		分的に	コメント	全体的に塗装劣	化が進行して(	いる。取
コメント	錆が発生している	3		コメント	付ボルトに表面的	りな錆が発生し	している
コメント部材名材質			分的に 3 B	コメント 部材名 材質	全体的に塗装劣 付ボルトに表面的 吊り金具 鋼	化が進行してで 内な錆が発生し 写真番号 健全度	いる。取 している 4 B
部材名	錆が発生している 吊り金具	写真番号 健全度 化は進行してお	3 B	部材名	付ボルトに表面的 吊り金具	写真番号 健全度	4 B
部材名 材質	新が発生している 吊り金具 鋼 全体的に塗装劣 けボルト等に表面 支柱	写真番号 健全度 化は進行してお	3 B	部材名 材質 コメント 部材名	日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日	写真番号 健全度 は磨耗が生じて 写真番号	4 B
部材名材質	新が発生している 吊り金具 鋼 全体的に塗装劣 けボルト等に表面	写真番号 健全度 化は進行してお面的な錆が発生	3 B り、取付 している	部材名 材質	付ボルトに表面的 吊り金具 鋼	がな錆が発生し 写真番号 健全度	4 B
部材名材質	新が発生している 吊り金具 鋼 全体的に塗装劣 けボルト等に表面 支柱	写真番号 健全度 化は進行してお面的な錆が発生 写真番号	3 B り、取付 している 5	部材名 材質 コメント 部材名	日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日	写真番号 健全度 は磨耗が生じて 写真番号	4 B Cいる

#### 表-9 b. ぶらんこの健全度調査結果(各施設シート)

	健全度調査票	(遊戯施設)
No.	13	
公園名	みどり公園	
公園施設種類	遊戲施設	- 11
公園施設名	ぶらんこ	
施設コード	13-d-0001	
数量	1 基	
規模	_	
主要部材	鋼材	š <u>—</u>
設置年度	H2 年度	
経過年数	22 年	
処分制限期間	15 年	
管理類型	予防保全型	
利用・管理状況と	一般的な公園の管理レベルで	で管理している



撮影日 平成 23 年 5 月 10 日

管理している公園の施設である。

管理者の意向

#### 基準適合状況(安全指針、バリアフリー法)への適合

安全指針 安全領域が確保されている。

バリアフリー法 適用外

健全度の評価(A>B>C>D:Aが一番健全)

調査日(第1回)平成23年5月10日

健全度判定	$A \cdot B \cdot D$	指標考慮	高低	緊急度判定	高・中(低
利用禁止の判定	   利用	禁止とする	•	利用禁止としな	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\

## 劣化状況

部材	構造材	消耗材	
梁部	全体的に塗装劣化が進行し、部分		
	的に錆が発生している	_	
継手部	全体的に塗装劣化が進行している	取付ボルトに表面的な錆が発生	
		している	
吊り金具	全体的に塗装劣化は進行してい	取付けボルト等に表面的な錆が 発生している。吊り金具に軽微	
	る。軽微な磨耗が生じている	先生している。 市り並具に軽微   な磨耗が生じている。	
支柱	全体的に塗装劣化が進行し、部分		
	的に錆が発生している	_	

#### 美観状況

支柱に一部落書きがある。

#### その他健全度判定における特記事項

全体的に塗装劣化が進行しているが、錆の発生は部分的で軽微であるため、日常点検や定期点検 を通じて安全性を維持することが望ましい。

		調査	日(第2	2回)平成	年	月	日
健全度判定	$A \cdot B \cdot C \cdot D$	指標考慮	高•	低 緊急	急度判定	高・	中・低
利用禁止の判定	利	用禁止とする	•	利用	禁止とし	ない	
		劣化状況					
部材	構	造材			消耗	材	

- ・健全度判定がA・Bのものは、緊急度は「低」となる。
- ・健全度判定がCのものは、緊急度が「中」となる。また、他の 指標考慮を「高」とした場合は、緊急度を「高」としてよい。
- ・健全度判定がDのものは、「高」となる。

		調査	∃(第3	3 回) 2	平成	年	月	日
健全度判定	$A \cdot B \cdot C \cdot D$	指標考慮	高·	低	緊急原	度判定	高	・中・低
利用禁止の判定	利	用禁止とする	•		利用禁	生とし	ない	
部材	構	造材				消耗	材	
		美観状況						

その他健全度判定における特記事項

健全度調査結果の記入

# 表-8 b. ぶらんこ(健全度判定:B)の定期点検表

古向でたたと工典 党期占於主

	一 万 回 ふ ら ん ご + 柵 (写真No. 全景写	
	5C-#-	白砂市青松町1-1
製品名	大型 2 連ぶらんこ 施設名 みどり公園	住所
点検社	株式会社 やまばと	点検日 平成 23 年 5 月 10 日
点検者	公園施設製品安全管理士 ○△ ×□▽(9999999) 確認者 公	園施設製品安全管理士 凸凹 ○▽□(888888
製造社	株式会社 すすめ SP表示シール 有・	製品番号
設置	[年月   平成 2 年 5 月 10 日   経過年月	22 年 0 月 落下高さ 2,410
構造部材	オ1   スチール   構造部材 2   消耗部材   吊金	具   チェーン   座板部
対象年	齢シール 有 · (無) 対象年齢 3歳~12歳 · 3歳~ ·	
	能に関する総合判定	Ⅱ. 塗装に関する総合判定
	健全であり、修繕の必要がない(使用可)	A:再塗装の必要がない
$\sim$	部分的に異常があり、部分修繕が必要(使用可) 重要な箇所に部分的な異常あり、部分修繕が必要(使用不可、場合により	B: 部分的に塗装が必要  使用可  C: 全体的に塗装が必要
	最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要(使用	
	傷害をもたらす物的ハザードがない状態	A:健全な状態
ザ(1):	軽度の傷害をもたらす状態	劣B: 軽微な劣化がある状態
$\frac{1}{2}$ :	重大であるが傷害が恒久的ではない状態	化 C: 重度の劣化がある状態
	生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす	
特坐体	的に塗装劣化が進行しているが、錆の発生は部分的で軽微で することが望ましい。	があるため、日常点検や定期点検を通じて安全性
事	うることが主よりい。	
項		
	点 検 項 目	点検器具 判定 写真No. 備 考
安	②運動方向、着座部が飛び出し可の時、落下高さ+1,500mm以上。全領域重複不可	メジャー 2 (合・ 否 3910mm
全 領	④その他方向、着座部の外側から1,500mm以上。全領域重複可	メジャー 2 🕝 ・ 否 1500㎜以_
域	柱の外側から500mm以上。全領域重複可	メジャー 2 <b>合</b> · 否 500mm以上
	上部空間、1,800mm以上	メジャー 1 (合)・ 否
	※ コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視 3 合 · 否
	※ くぼみ・石ころなどの障害物がないこと	目視 1 合・否
劣支	腐食がないか(地際部附近) (全数点検)	目視打診 A ・B・C・D       6       錆
化柱部	腐食がないか(地際部附近以外)	目視打診 A・B・C・D       5       錆
	ぐらつきがないか	揺診 A・B・C・D
	破損など (破損 0 ヶ所)	目視 A・B・C・D
梁	腐食がないか (金具附近)	目視打診       A・B・C・D       1       錆
部	腐食がないか(金具附近以外)	目視打診   A・B・C・D   錆
	破損など (破損 0 ヶ所)	目視 (A)・B・C・D
継手	腐食がないか	目視     A・B・C・D     2     錆
金	ボルトの緩みがないか	打診触診 A · B · C · D
具	破損・割れ (破損・割れ 0 ヶ所)	目視 (A)・B・C・D
吊り	腐食がないか(全数点検)	目視 A・B・C・D 3 錆
金	回転不良がないか	触診聴診 A・B・C・D
具	ボルトの緩みがないか	打診触診 A · B · C · D
	磨耗 (磨耗 0 ヶ所)	触診 A・B・C・D
	破損など (破損 0 ヶ所)	目視 A・B・C・D
り	ねじれ(全数点検) (ねじれ 0 ヶ所)	目視 A)・B・C・D
部	腐食がないか	ノギスA)・B・C・D
材	磨耗 (磨耗 0 ヶ所)	$/$ $\neq$ $A \cdot B \cdot C \cdot D \qquad 4 \qquad 13 \phi \rightarrow 9.8$
如子	破損など (破損 0 ヶ所)	目視 (A)・B・C・D
部有座	磨耗・腐食(全数点検)(磨耗・腐食0ヶ所)	目視 A・B・〇・D 金具、ボルト腐
	破損など (破損 0 ヶ所)	目視 (A)・B・C・D
部基礎	( ) - C // G / / ( ) ( ) ( )	揺診 A・B・C・D
	破損など (破損 0 ヶ所)	目視 A・B・C・D
規 ① 準	頭部・胴体の挟み込み (100~230mm)	器具AB 2 <b>一 ・ </b>
	※落下により首へのダメージが想定される場合はハザードレベルを3とする	器具AB 3 合・否
般 ② 規 ②	頭部または首の挟み込み (V字型開口部)	器具AB 3 合・否
定 3	指の挟み込み ( ¢ 8~25mm)	器具E 2 合・否
17.4.3	*** ********* *** **** **** **** **** ****	

#### c. 便所

#### ■建築物の外部点検

○施設の利用者、歩行者に対して外壁材や付属物等の落下の危険性はない か重点を置いて点検する。

#### ●健全度調査の主なポイント

- ・ 塗膜が剥がれたり、亀裂はないか
- モルタルやタイルの浮きはないか
- ・ 鉄筋露出や錆汁の発生はないか
- ・ 目地や建具廻りのシール材に亀裂はないか

#### タイルの剥離



#### モルタルの剥離



#### タイルの剥離



写真-8 建築物外部の異常の判定例

#### ■建築物の屋根点検

- ●健全度調査の主なポイント
- ・ 屋上・屋根の仕上げ(防水層、屋根葺材)にひび割れ、浮き、劣化、腐食等 はないか
- ・ 庇、笠木、軒裏の剥落の危険性はないか
- ・ ルーフドレイン廻りや雨樋の中に枯葉や土が堆積していたり、雑草が生えて いないか

#### 土砂堆積



笠木のうき



写真-9 建築物屋根の異常の判定例

#### ■建築物の内部点検

○施設の利用者に対して、床の突起物によるつまづきや壁・天井から落下 物の危険性はないか重点を置いて点検する。

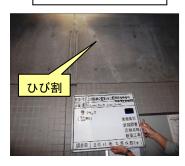
#### ●健全度調査の主なポイント

- ・ 天井・壁・床の仕上げ材の欠損・剥離・浮きなどはないか
- ・ 外壁からの雨漏り等はないか
- ・ 床仕上げ材の磨耗していないか

## 天井の雨漏



## 壁面ひび割れ



## 壁面仕上げ材の破損



写真-10 建築物内部の異常の判定例

参考文献:建築物点検マニュアル・同解説 平成18年7月 国土交通省大臣官房官庁営繕部 施設管理者のための公共建築物点検マニュアル H19年3月 平塚市 市有施設安全点検マニュアル H20年3月 長岡市

表-10 c. 便所(健全度判定:B)の事例

施記	<b>设名</b>			便序	<b>沂</b>		経過	年数	22年
健全周	隻判定	В							
		全体写真					コメント		
					いるわけ <sup>*</sup> 割れや風 た、照明	の割に全体 ではないが、 化等の劣化 器具等の金属 生している。	外壁や屋 が部分的に 属部には飛	根ふき材に生じてい	にはひび vる。ま
				損	傷写真				
部材名		壁	写真番号	1	部材名	屋村		写真番号	2
材質	コンク	リート	健全度	В	材質	ストレ・	<b>−</b> ト	健全度	В
THE OPEN TO				inini Maria					
コメント	壁面に幅の	D.3mm程度 所がある	のひび割れ	≀が発≦	コメント	一部風化は 上は見られ	t見られる; ない	が、雨漏れ	い等の以
部材名		<b>達·</b> 床	写真番号	3	部材名	照明都		写真番号	4
材質	タ1	ハ	健全度	Α	材質	鋼		健全度	В
コメント	内壁および	び仕上げタ	イルは健全	きである	コメント	金属部分に	点錆が発	生している	5

#### 表-11 c. 便所の健全度調査結果(各施設シート)

	健全度調査票(
No.	21
公園名	みどり公園
公園施設種類	便益施設 (一般施設)
公園施設名	便所
施設コード	2 1 -f- 0 0 0 1
数量	1 棟
規模	22. 0m <sup>2</sup>
主要部材	鉄筋コンクリート
設置年度	H2 年度
経過年数	22 年
処分制限期間	50年
管理類型	予防保全型
利用。答理供证し	, 処的わな馬の笹珥しぶれて



撮影日 平成23年5月10日

管理者の意向

| 利用・管理状況と | 一般的な公園の管理レベルで管理している公園の施設である。 処分期間が長く、できるだけ継続して利用する。

一般施設)

#### 基準適合状況(安全指針、バリアフリー法)への適合

安全指針 安全指針適用外

バリアフリー法 バリアフリー法に適合している

健全度の評価(A>B>C>D:Aが一番健全) 調査日(第1 

 $A(\cdot B) C \cdot D$  指標考慮 高(K) 緊急度判定 高 $\cdot$ 中(K)健全度判定 利用禁止としない 利用禁止とする 利用禁止の判定

#### 劣化状況

22.12.11.112								
部材	構造材	消耗材						
建物外部	壁面タイルの一部に浮きが	電気配管固定金物の留め						
	生じている	ビスが腐食し始めている						
屋上•屋根	屋上、屋根に劣化や漏水等は生じ	消耗材なし						
	ていない	付代がなし						
建物内部	内壁、床タイル等に汚損や損傷は	蛍光灯のカバーにひびが入って						
	特に生じていない	いる						
各種設備	配管からの水漏れ等は生じていな	ラッキングカバーが一部損傷し						
	V	ている						
	,							

#### 美観状況

内壁に落書きがある。

#### その他健全度判定における特記事項

外壁タイルの浮きが一部確認されたが全体的には健全であり、部分的な修繕程度で問題ないと判 断する。蛍光灯のカバーのひび、いたずらによるラッキングカバーの損傷箇所があるため、交換 する必要がある。落書き跡は美観を損ねているため、早期に消す必要がある。

		調査	日(第2回	回)平成	年	月	日					
健全度判定	$A \cdot B \cdot C \cdot D$	指標考慮	高・低	緊急原	度判定	高・	・中・低					
利用禁止の判定	利儿	用禁止とする	•	利用禁止としない								
部材	構	造材			消耗	材						

緊急度がCの施設のうち、緊急度判定をする際に考慮すべき 事項(指標:利用者数、災害時の避難場所指定の有無、公園 施設の愛着など、地域ニーズへの対応の必要性、パブリック・ コメント等による市民の意志、歴史性・自然性等の価値の有 無、公園の顔やシンボル等としての、美観的価値)に該当する 場合は、「高」となる。

		調査	査日(第3回)平成 年 月 日					
健全度判定	$A \cdot B \cdot C \cdot D$	指標考慮	高・	低 緊急	度判定	高・中・低		
利用禁止の判定	利	用禁止とする	•	利用禁止としない				
		劣化状況						
部材	構	造材			消耗	<b>耗材</b>		
		美観状況						

その他健全度判定における特記事項

# 健全度調査結果の記入

健全度調査票(各施設シート)に健全度調査結果及び判定を記入する。



図-11 健全度調査結果及び判定の記入イメージ

# 3. 公園施設長寿命化計画の策定の進め方

## 単年度あたりのライフサイクルコストの算出方法

○ライフサイクルコストの算出方法を以下に示す。

定期的な健全度調査は、 5年に1回以上実施する。 (遊具、設備は毎年実施)

・使用見込み期間内の長寿命化対策をしない場合の総費用

「維持保全費」+「更新費」

・使用見込み期間内の長寿命化対策をした場合の総費用

「維持保全費」 + 「健全度調査費」 + 「補修費」 + 「更新費」

・長寿命化対策をしない場合の単年度あたりのライフサイクルコスト

「長寿命化対策をしない場合の総費用」

÷「長寿命化対策をしない場合の使用見込み期間」

・長寿命化対策をした場合の単年度あたりのライフサイクルコスト

「長寿命化対策をした場合の総費用」

÷「長寿命化対策をした場合の使用見込み期間」

・単年度当たりのライフサイクルコスト縮減額

「長寿命化対策をしない場合の単年度あたりのライフサイクルコスト」

- 「長寿命化対策をした場合の単年度あたりのライフサイクルコスト」

上記の算出方法により、a. 四阿、b. ぶらんこ、c. 便所について、ライフサイクルコストを算出する。

#### 《参考》

#### 表-12 使用見込み期間の設定例

	事後保全型管理における	予防保全おける
	使用見込み期間	使用見込み期間
処分制限期間が 20 年未満の施設	処分制限期間の2倍	事後保全の使用見込み期間の 1.2 倍と設定
処分制限期間が 20 年以上~40 年未満の施設	処分制限期間の 1.5 倍	(処分制限×2.4) 事後保全の使用見込み期間の 1.2 倍と設定 (処分制限×1.8)
処分制限期間が 40年以上の施設	処分制限期間の1倍	事後保全の使用見込み期間の 1.2と設定 (処分制限×1.2)

※この使用見込み期間の値については、本指針策定のために実施したモニタリング調査から得られた暫定的数値であることに留意し、具体の期間設定にあたっては、地方公共団体ごとのストックマネジメントの考え方に基づいて適宜判断されたい。

使用見込み期間は、処分制限期間に応じて設定する。

#### a. 四阿

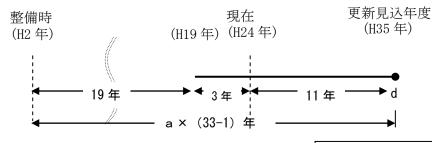
#### 【過去の履歴が3年前まである】

- ・整備時は、22年前。
- ・3年前から現在までの毎年の維持保全費(50千円/年)が存在する。
- ・過去の維持保全費が不明な19年間は、現在の維持保全費と同額を設定。
- ・更新年の維持保全費は計上しない。

#### 長寿命化対策をしない(事後保全型管理)場合

- ・現在から11年後を更新見込み年度と設定。
- ・使用見込み期間 = 33 年 1 しと設定。

処分制限:22年(木製)、処分制限の1.5倍 →22 年×1.5=33 年



#### ●長寿命化対策をしない場合の総費用

 $a \times (22+11-1) + d$ 

= 1,600 + 2,500

= 4,100 (千円) …②

#### -凡例-

a:3年前から現在までの

維持保全費 d:更新費

(50千円/年)

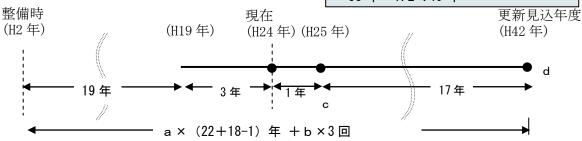
(2,500千円)

#### 長寿命化対策をした(予防保全型管理)場合

- ・現在から1年後を補修と設定。
- ・1年後の補修から17年後を更新見込み年度と設定。
- ・予防保全型管理における健全度調査を5年ごとに行い、更新までに3回行う。 健全度調査費は(12千円/年)と設定。

・使用見込み期間 ₹40年)…③と設定。

事後保全の使用見込み期間の 1.2 倍 →33 年×1. 2≒40 年



#### ●長寿命化対策をした場合の総費用

 $a \times (22+18-1) + b \times 3 + c + d$ 

- = 1,950 + 36 + 600 + 2,500
- = 5,086 (千円) …④

#### —凡例一

a:3年前から現在までの

維持保全費

(50千円/年)

**b**:健全度調査費(5年ごと)(12千円/年)

(600千円)

c:補修費(塗装) d:更新費

(2,500千円)

# ●単年度ライフサイクルコスト縮減額

 $(2 \div 1) - (4 \div 3)$ 

 $= (4,100 \div 33) - (5,086 \div 40)$ 

124 127

= -3(千円/年)【費用縮減額】 ライフサイクルコストの縮 減効果が得られない。

図-12 単年度ライフサイクルコスト算出の概念図(a. 四阿)

表-13 公園施設のライフサイクルコストの算出根拠(a.四阿)

	公園施設ライフサイクルコスト算出根拠(一般施設)										と施設:	)		健全度調査票(各施設シート)と同じ内容を記載。 	
No.	9 設置		设置年度						H2 年	長寿命化対策をした場合の更新見込み年度を記載。					
 公園名	みどり公園 <b>経過年</b>								22 年	200 M 100 300 C 000 M 100 C 100 M 100 M 100 C 100 M 100 M 100 C 100 M 10					
公園也 公園施設和		1	休養施設(一般施設)			33 年			シ南世間は無ち10年 無常弗田は シ南田間の公弗は						
施設コード	1123/232 ( )30/2320			新見込み年度						42 年	計画期間は概ね10年。概算費用は、計画期間の総費月				
公園施設。			9 —	四际		_		達度・緊						<del>42 年</del> ・低	を記載する。
数量•面積				1 基				·及·系 可期間	心反					10 年	
主要部材	Į.								′т m - 1		381				
部位・素材別の				小型	Ę			1	〔千円・1	中	日] <i>)</i> 	予防保		, 124 <b>防保全の</b>	健全度調査を踏まえ、劣化状況に即した補修内容・領
具体的 長寿命化対策	体的 構造材(予防保全)				消耗材				の交換サイク	<b>A</b>	が保主の 対策費 円/数量)	用の設定。			
屋根	保護	金装を	·行う											600	
-															ᆕᇄᄼᆖᆸᆂᄹᄆᄝᄓᄭᄲᄜᄩᄼᆖᄀᆂᅷᆉᄀ
															設定した使用見込み期間を記載する。
長寿命化	 対策しな	:い   イ	使用見	,込み其	期間	33 年	長	寿命(	比対策し	た場	(	用見込	 み期間	40 年	
場合(事	後保全	)	更新見	見込年	度	H35 年		合(予	防保全	È)		更新見辺	年度	H42 年	
		£	長寿命 <sup>。</sup>	化対策	しない	場合(	事後的	<b>呆全)</b> (	の概算	費用				ET 1547A11b1	
\	H2 ∼2 <del>4</del>	25	26	27	28	20	30	31	32	33	34	H25 <b>∼</b> 34	H35 <b>∼</b> 42	費用計 (千円)	計画期間内は単年ごとに費用を記載
費用(主円) 維持保全	<u>計</u> 1,100	50	50	50	50	50	50	 50	50	50	50	計 500	<u>計</u>		•••••
補修	0	- 55												0	計画期間(10年間)の総費用
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,500	2,500	···③
費用 計	1,100	50			50	50	50	50	50	50	50		2,500		····(5)
2411	,								概算費					計(千円)	計画期間後から更新年までの費用
維持保全	1,100	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	350		2
健全度調査	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12	24	12	36	使用見込み期間内の総費用
補修	0	600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	600	0	600	
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,500	2,500	
費用 計	1,100	650	50	50	50	62	50	50	50	50		1,124	2,862	5,086	6
縮》	載効果		長寿命	命化対策		合(事後保	(全)	長寿	命化対策				गगाम		・計画期間内で施設を更新した場合、更新
使用見込む		年)			33	···a				40	•••k	)			年以降の計画期間内で生ずる費用は、次
維持保全領 健全度調	-	円)				1,	600	(	$\mathfrak{D}$			1,986	2		のライフサイクルの費用として記入する。
補修•更新	<u> </u>	])				2,	500		_			3,100	··• <b>4</b>	•	
ライフサイクルコ	コ <u>スト(千</u> 円	9)				4,	100	•••	<b>5</b>			5,086	•••6		
単年度51 (千円/年)		<u></u> /コスト					124	(	<b>5</b> /a			127	6		長寿命化対策をした場合と長寿命化対策をしない場合の単年 度ライフサイクルコストの比較結果、ライフサイクルコストの縮
※遊具につい を記入する											基本的	な方針や頻	度・費用	等	減効果が得られなかったため、予防保全型管理を行う候補で はなく、あるいは、補修方法を見直して、ライフサイクルコスト の質定を再度行う

の算定を再度行う。

41

#### b. ぶらんこ

#### 【過去の履歴が3年前まである】

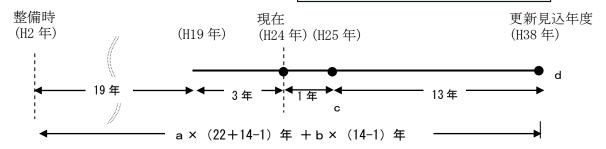
- ・整備時は、22年前。
- ・3年前から現在までの毎年の維持保全費(3千円/年)が存在すると設定。
- ・過去の維持保全費が不明な19年間は、現在の維持保全費と同額を設定。
- ・更新年の維持保全費、健全度調査費は計上しない。

# 遊具については、長寿命化をした場合のみ算出する。

#### 長寿命化対策をした(予防保全型管理)場合

- ・現在から1年後を補修と設定。
- ・1年後の補修から13年後を更新見込み年度と設定。
- ・予防保全型管理における健全度調査を毎年行う。また、健全度調査費(3千円/年)を設定。
- ・使用見込み期間 **€**36年**)**·③と設定。

#### 処分制限:15年、処分制限の2.4倍 →15年×2.4=36年



#### ●長寿命化対策をした場合の総費用

$$a \times (22 + 14 - 1) + (b \times 14 - 1) + c + d$$
  
= 105 + 39 + 238 + 900  
= 1,282 (千円) …④

#### —凡例一

d:更新費

a:3年前から現在までの 維持保全費

維持保全費 (3千円/年) b: 健全度調査費(毎年) (3千円/年) c: 補修費(消耗材交換) (238千円)

(900千円)

図-13 単年度ライフサイクルコスト算出の概念図(b. ぶらんこ)

表-14 公園施設のライフサイクルコストの算出根拠(b. ぶらんこ)																	
公園施設ライフサイクルコスト算出根拠(一般施設)																	
No.				13			設置	置年度					Н	2年			
公園名			J	メどり	公園		経過	<u></u> 過年					22 年				
公園施設和	重類			遊戯旅	拉設		処分	計限	期間				15 年				
施設コード	·		1 3 -	- d —	0 0 0	0 1	更新	f見込	み年度		H38 年						
公園施設名	 名			ぶらん	レこ		健全	È度∙緊	 				B・低				
数量•面積	i			1 基				期間					1	0 年			
主要部材	-			鋼隻					· (千円·	10 年	間)			98			
部位・素材別の				7,112	•		.,,,,,		予防保								
具体的 長寿命化対策		材(予[	:)			消	i耗材	の交換サイク	<b>対策費</b>								
柱部	素地調	調整塗	装			糸	推 吊り ボル	金具の ノトの?		寸け			238				
長寿命化	長寿命化対策しない 使用見込み期間 長寿命化対策した場 使用											門見込む	み期間 36年				
場合(事				見込年					下。 下防保:			更新見辺		H38 年			
7911(7	<u> </u>					\提合	(事後					X 401 7L &	· <b>达平及</b> 1300				
年度	H2 ~24	25	26	27	28	29	30	31				H25 ~34	H35 費用計 ~38 (千円)				
費用(千円)	計											計	計				
維持保	遊具に	こつに	へは	. 長	<b>集命</b> (	k.											
補係	をした					J	2										
更新		<b>М</b> П (	)		₩. ⊏												
費用 計																	
			長寿命	化対	策した	場合(	予防保	全)の	概算費	費用				計(千円)			
維持保全	66	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30	9	105			
健全度調査	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30	9	39			
補修	0	238	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238	0	238			
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	900	900			
費用計	66	244	6	6	6	6	6	6	6	6	6	298	918	1,282			
	或効果		長寿1	命化対策	しない場	i合(事後	(保全)	長男	<b>导命化</b> 対		合(予防	「保全)	縮洞	<b>域効果</b>			
使用見込む		年)				_				36							
維持保全	-	<b></b> \	/ :	遊具	こつし	て						144					
健全度調				は、長	寿命	化		<u> </u>					/				
補修•更新			: }	をした	:場合	の						1,138					
ライフサイクルコ			1	み記り	入する	0.						1,282	<u> </u>				
単年度54 (千円/年)		171		_		/						35		/ -			
	※遊具については、基礎情報に加え、部位・素材別の具体的長寿命( ライフサイクルコスト を記入するとともに、長寿命化対策した場合(予防保全)の概算 の比較はしない。																

#### c. 便所

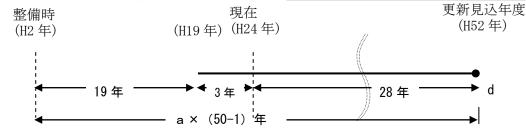
#### 【過去の履歴が3年前まである】

- ・整備時は、22年前。
- ・3年前から現在までの毎年の維持保全費(60千円/年)が存在すると設定。
- ・過去の維持保全費が不明な19年間は、現在の維持保全費と同額を設定。
- ・更新年の維持保全費は計上しない。

#### 長寿命化対策をしない(事後保全型管理)場合

- ・現在から28年後を更新見込み年度と設定。
- ・使用見込み期間=(50年・)・①と設定。

処分制限:50年(RC)、処分制限の1.0倍 →50年×1.0=50年



#### ●長寿命化対策をしない場合の総費用

 $a \times (22 + 28 - 1) + d$ 

- = 2,940 + 20,000
- = 22,940 (千円) …②

#### —凡例-

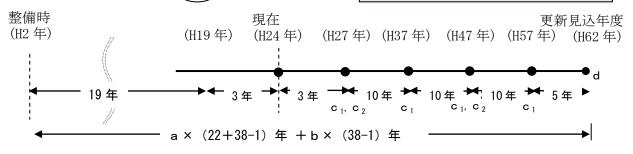
a:3年前から現在までの

維持保全費 (60千円/年) d:更新費 (20,000千円)

#### 長寿命化対策をした(予防保全型管理)場合

- ・現在から3年後を補修と設定。
- ・3年後の補修から35年後を更新見込み年度と設定。
- ・予防保全型管理における健全度調査を5年ごとに行い、更新までに7回行う。
- 健全度調査費は(12千円/年)と設定。 ・使用見込み期間 (60年・・③と設定。

事後保全の使用見込み期間の 1.2 倍 →33 年×1.2≒40 年



#### ●長寿命化対策をした場合の総費用

 $a \times (22 + 38 - 1) + b \times 7$ 

 $+ (c_1 \times 4 + c_2 \times 2) + d$ 

- = 3,540 + 84 + 2,500 + 20,000
- = 26,124 (千円) …④

#### —凡例一

a:3年前から現在までの

維持保全費

(60千円/年)

b: 健全度調査費(5年ごと)

(12千円/

年)

**c**<sub>1</sub>:補修費(內部、屋根) **c**<sub>2</sub>:補修費(外部) (500千円) (250千円)

#### ●単年度ライフサイクルコスト縮減額

 $(2 \div 1) - (4 \div 3)$ 

- $= (22,940 \div 50) (26,124 \div 60)$
- = 458 435
- = 23 (千円/年)【費用縮減額】

図-14 単年度ライフサイクルコスト算出の概念図(c. 便所)

表-15 公園施設のライフサイクルコストの算出根拠(c. 便所)

表一I5	公園和	でで	フコ	79.	1ソノ	ν <u></u> ,	<u> </u>	界山	区拠	(0.13	<b>СР</b> /Г/			
公園施設ライフサイクルコスト算出根拠(一般施設)														
No.		21					設置年度						H2 年	
公園名			J	シどり	公園		経過	<b>過年</b>					2	2年
公園施設種	類	Į.	更益施	設 (-	一般施	設)	処分	<b>分制限</b>	期間				5	0年
施設コード			3 —	f - 0	0 0	1	更新	<b>新見込</b>	み年度	•			Н6	2年
公園施設名	<u></u>			便瓦	f		健生	È度·緊	急度				В	<ul><li>低</li></ul>
数量•面積			1 🕇	埬(22	$2 \text{ m}^2$		計画	画期間					1	0年
主要部材			金	失筋コン	クリート		概算	算費用(	<u> 千円・</u>	10 年	間)		1,	374
部位・素材別の 具体的 長寿命化対策		構造	材(予[	防保全	:)			消	耗材			予防保 の交射 サイク	奥   対	防保全の 対策費 円/数量)
建物外部	躯体补	<b>i修、</b>	タイプ	レの張	替	Ĭ	進ボル	トの交	を換を行	<b></b> う		20 年	E.	250
屋上• 屋根	防水層	<b>香清掃</b>	、再塗	趁装		Į.	進ボル	トの交	変換を行	亍う		10 年	=	200
建物内部	天井台	- 合成樹	脂吹作	·十					_			10 年	Ē.	300
各種設備			- SUSラッキング材の補修											
長寿命化対	対策しな	い	吏用見	込み	期間	50 年	年長寿命化対策した場 依			使	使用見込み期間 60年			
場合(事	後保全)		更新	見込年	度	H52 4	2年 合(予防保全)			Ţ	更新見込年度 H62 年			
		長	長寿命 <sup>·</sup>	化対策	しなし	\場合	·(事後·	保全)(	の概算	費用				評価期間
年度	H2	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	H25	H35	費用計
費用(千円)	~24											<b>~</b> 34	<b>~</b> 62	(千円)
見加(1)	計											計	計	
維持保全	1320	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	600	1,020	2,940
補修	0													0
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000
費用 計	1320	60	60	60	60	60		60	60	60	60	600	21,020	22,940
					1	1	予防係	T	1				1 .	計(千円)
維持保全	1320	60	60	60	60	60		60	60	60	60	600	1,620	3,540
健全度調査	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12	24	60	84
補修	0	0	0	750	0	0	0	0	0	0	0	750	1,750	2,500
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000
費用計	1320	60	60	810	60	72		60	60	60	72	1,374	23,430	26,124
	効果		長寿命	命化対策		i合(事徒	(保全)	長寿	命化対	-	合(予防	保全)	縮洞	域効果
使用見込み 維持保全費		丰)			50					60			_	
│ 健全度調査		<b>9</b> )					2940					3,624		
補修•更新							20,000					22,500	1 /	•
ライフサイクルコ							22,940					26,124		
単年度ライ゙							458					435		23
(千円/年)					1				-		·			

<sup>※</sup>遊具については、基礎情報に加え、部位・素材別の具体的長寿命化対策の欄に、管理の基本的な方針や頻度・費用等を記入するとともに、長寿命化対策した場合(予防保全)の概算費用を記入する。

### 表—16 健全度調査票(公園概要シート)

1.	公園概要				2.	•		調査対象施設			
		公園村	既要		No	公園施設 種類	具体的 施設名称	数量	主要部材	予防〇 事後×	備 考
1	名称	みどり公園	② 所在地	白砂市青松町 1-1	1	,_,,_,		1,000 m²	洗い出しコンクリート	×	正常
3	設置年月日	平成2年5月21日	④ 沿革の概要	公園の供用開始公告 平成2年5月21日	2	a .	舗装	400 m²	コンクリート平板	×	全体の 50%ががたつき
				白砂市公告第 100 号。	3	園路		300 m²	タイル張り舗装	×	全体再整備が必要
	敷地総面積	40, 000 m <sup>2</sup>			4	広場	mills with	20 段	タイル張り舗装	×	異常なし
	土地所有者	白砂市			5	1	階段	2 段	擬石階段ブロック	×	表面ひび割れ
	所有者別面積	40, 000 m <sup>2</sup>			C			2,000 m <sup>2</sup>	*************************************	_	植栽地概要表参照
	公園管理者の				0	b	植栽				<b>技类协概而主</b> 乡叨
	有する権原			ライフサイクルコストの算出	 出結	<u>  §.</u>		400 m²	外周植栽	_	植栽地概要表参照
	公園施設として設け 及びその他の主要な		管	果を反映し、予防保全型管事後保全型の類型を確定す	理•	設	噴水	1式	鉄筋コンクリート、タイル・自然 石、 循環設備、電気設備	0	
	建ペい率	があるほとなって割る)	••%		<b>8</b> ° 9		四阿	1基(12 m²)	木、鋼材、鉄筋コンクリート	× ~	
	_ (建築面積の総計の 建ペい率	)敷地面積に対する割合)			10	с.	パーゴラ	3 基(20 ㎡)	鋼材、鉄筋コンクリート	0	
	る建築面積の総計	(都市公園法施行令第6条第1項及び第2項に規定す 該当区域ではない る建築面積の総計の敷地面積に対する割合)			11	休養施設	ベンチ	15 基	木、鋼材	×	赤字はライフサ ルコスト算出結:
⑧ 運動施設面積総計の敷地に対する割合 ●●%			12			7基	木	×	座面踏まえて、予防作		
⑨ 主要な占用物件について(※2参照) 管理事務所(鉄筋コンクリート造) 建築面積:●●㎡		13		ぶらんこ	1 基	鋼材	0	型管理を行う候権 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	, E		<b>建</b> 架山	U(1) . ●● III	14	1	滑り台	1 基	鋼材	0	なったもの。
0	公園一体建物の概要				15	¬ a. 遊戲	複合遊具	1 基	鋼材、FRP	0	
1)	公園の重要度 特に	重要な公園 ・その他の身	近な公園 理由	●●●なため	16	施設	砂場	10 m²	コンクリート	0	
Ξ	ニ)運動施設については、そ	物であるものはその構造 ハ)建 の敷地面積 ホ)都市公園法第		を反映した、健全	17		スプ゚リング 遊具	2 基	FRP、スプ゜リンク゛	0	
	O氏名及び住所(法人にあ 理する期間の初日及び末日	っては、その名称、代表者			$\rightarrow$ 18	е.	競技場 (トラック)	1式	ウレタン舗装	0	
2	イ)種類及び名称 ロ)構造 により算定した既設の地下	一ハ)建築物であるものに 古用物件の占用面積の総計の の氏名及び住所(法人にあって)	に更新する	<b>人</b>	19	運動 施設	プール	1式	鉄筋コンクリート、電気設備、 循環設備	0	
	用の期間の初日及び末日			71-01 0 1	20	f	水飲み場	3 基	擬石コンクリート	×	正常だがバリアフリー仕様でない
	現況写真		位置図(S=1/10,	000)	21	便益	便所	1 棟	鉄筋コンクリート	0	
			#	みどり公園	22	施設	駐車場	500 m²	アスファルト	0	
				19/60	23		管理事務所	1 棟	鉄筋コンクリート	0	
		The state of	11,000	u / X V	24	g.	橋	1橋	上部工:PC、下部工:RC	0	
			25	管理	擁壁	200m	コンクリート、 H=1.0m	×			
4				26	施設	フェンス	300m	鋼材	×	塗装劣化	
	//						車止め	10 基	アルミ	×	正常だが、1基変形
16					28	h. 災害応急 対策施設	備蓄倉庫	1 棟	コンクリートフ゛ロック	0	
5446		TA .	// h	111		i.	展望台	1 基	鉄筋コンクリート		

### 表-17 主な公園施設と処分制限期間の採用値(案)

工種	施設名称	主要部材	処分制限期間 の採用値	採用値設定の参照項目(施設細目)
	コンクリート・ブロック舗装	コンクリート、レンガ、タイル、ブロック、平板	15	園路一舗装路面ーコンクリート敷・ブロック敷15年
	アスファルト舗装	アスファルト	10	園路一舗装路面ーアスファルト敷10年
	砕石系 斜路	コンクリート	15	圏路ー舗装路面ーコンクリート敷・ブロック敷を参考 圏路ー舗装路面ーコンクリート敷15年を参考
105 4-18	階段	コンクリート・擬木	15	園路ー舗装路面ーコンクリート敷15年を参考
路広場	人道橋	コンクリート 金属(スチール)	60	園路-標-RC60年 園路-標-RC60年を参考
	人道橋	木製	15	園路一橋一木製15年
	石橋つり橋	石材 金属	38	休養施設-休憩所-石造38年を参考 園路一つり槽-金属10年
	八ツ橋	木製	15	園路一橋一木製15年
	藤棚・パーゴラ	コンクリート	47	体養施設一体憩所一鉄筋コンクリート造47年を参考
	藤棚・パーゴラ 藤棚・パーゴラ	れんが、石、ブロック 金属(スチール) t>4	38	体養施設一休憩所-れんが造、石造又はプロック造を参考 体養施設一休憩所-金属造を参考
	藤棚・バーゴラ	金属(スチール) 4>t>3	27	休養施設-休憩所-金属造を参考
<b>多景施設</b>	藤棚・バーゴラ	金属(スチール) t<3 金属(スチール)	19	休養施設 休憩所- 金属造を参考 修景施設 緑化施設 金属15年
MUSEA	トレリス	木製	7	修景施設一級化施設一木製10年
	花壇	コンクリート・レンガ	20	修景施設ー緑化施設ーその他のもの20年
	景石 モニュメント	石材 金属(スチール)	38	教養施設-その他のもの一石造38年を参考 教養施設-その他のもの一金属造34年を参考
	噴水	コンクリ・噴水口金属	15	教養施設-建物付属設備-給排水設備15年を参考
	四阿四阿	コンクリ・石 れんが 石 ブロック	47 38	休養施設 - 休憩所-RC47年 休養施設 - 休憩所-れんが造38年
	四阿	金属(スチール) t>4	34	休養施設休憩所金属造(骨格材の肉厚4mm <del>左郎</del>
	四阿四四	金属(スチール) 4>t>3 金属(スチール) t<3	27	休養施設一休憩所-金 <u>国達・</u> 休養施設・ 休養施設・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	四阿	木製 合成樹脂	22	休養施設一休憩所-木造22年
憩施設	KIPI	木骨モルラル	20	体囊症以一体短所 小青40年
	ベンチ類 ベンチ類	金属(スチール) 木材 コンクリ	15	休養施設-ベンチー金属15年 休養施設-ベンチー木製7年
	ベンチ類	木材 金属	7	休養施設ーベンチー木製7年
	ペンチ類	再生木材 金属・コンクリ	22 47	体養施設一体憩所-合成樹脂22年を参考 体養施設一体憩所-DC47年を参考
	ベンチ類 ベンチ類	コンクリート 樹脂 金属	10	体養施設一体憩所-RC47年を参考 体養施設一建物付属設備-その他10年を参考
_	滑り台	1000 St. C. 10055	15	遊戲施設 禮學物 金屋製15年
L	ブランコ ンヤンブルンム、曇 Cい		15	遊戲施設一構築物一金属製15年 遊戲施設「構築物」並屬表15年
	鉄棒		15	遊放一段一構築物一金属製15年
1 成年 1 位 1 位 1 位 1 位 1 位 1 位 1 位 1 位 1 位 1	シーソー 複合遊具	鋼材	15 15	遊戲施設 - 地一金属製15年 遊戲施設-構築亦 - 型製15年
- 644 //巴克艾	複合遊具	類材 柱: 鋼材、パネル:ポリエチレン	15	遊戲施設-構築物- 遊戲施設-構築物-金
	複合遊具、アスレチック	木	7	遊戯施設-構築物-木製7年
	スプリング遊具 砂場	FRP コンクリート	10	遊戯施設-構築物-その他10年 園路-舗装路面-コンクリート数15年を参考
	築山	RC	40	展望台ー構築物ーコンクリート造40年を参考
	プール 本体 プール 給排水衛生設備	RC	30 15	運動施設ー構築物-水泳ブール30年 運動施設ー建築付属設備ー給排水15年
	プール建物	SRC, RC	47	運動施設一建物一その他のもの一鉄骨鉄筋コンクリート47年
	ブール スライダー	SRC	30	運動施設・構築物・主として鉄骨造30年
	サッカー、バスケゴール 防球ネット	樹脂	15	運動施設ー構築物ーネット設備15年を参考 運動施設ー構築物ーネット設備15年を参考
	バックネット	金属	15	運動施設ー構築物ーネット設備15年を参考
	野球場 グラウンド 野球場 バックスクリーン	混合土·芝 SRC、RC	30 45	運動施設-構築物-野球場等土工施設30年 運動施設-構築物-スタンド-主として鉄骨鉄筋コンクリート45年
	野球場 スタンド	SRC, RC	45	運動施設-構築物-スタンドー主として鉄骨鉄筋コンクリート45年
	野球場 スタンド 野球場 スタンド下建物	金属製 SRC、RC	30 47	運動施設-構築物-スタンド-主として鉄骨造30年 運動施設-建物-その他のもの-鉄骨鉄筋コンクリート47年
	陸上競技場 グラウンド	全天候	10	園路一舗装路面ーアスファルト敷10年
	陸上競技場 スタンド	SRC, RC	45	運動施設ー構築物-スタンドー主として鉄骨鉄筋コンクリート45年
重勁施設	テニスコート 舗装 テニスコート ポスト等備品	全天候 金属	10	園路ー舗装路面ーアスファルト数10年 運動施設ー連物附属設備ー金属製18年を参考
	多目的、テニス、陸上	クレイ、アンツーカー	10	園路ー舗装路面ーアスファルト敷10年
	運動用具倉庫 運動用具倉庫	SRC、RC ブロック造	38	運動施設-建物-運動器具倉庫-鉄骨鉄筋コンクリート38年 運動施設-建物-運動器具倉庫-ブロック造34年
	運動用具倉庫	金属造 t>4	31	運動施設-建物-運動器具倉庫-金属造(骨格材の肉厚4mmを超えるもの)
		金属造 4>t>3 金属造 t<3	17	運動施設-建物-運動器具倉庫-金属造(骨格材の肉厚3mmを超え4mm以下のもの) 運動施設-建物-運動器具倉庫-金属造(骨格材の肉厚3mm以下のもの)
	運動用具倉庫	木造	15	運動施設一建物一運動器具倉庫一木造15年
	体育館等建築物	SRC, RC	47	運動施設一建物-その他のもの一鉄骨鉄筋コンクリート47年
	体育館等建築物 体育館等建築物	ブロック造 金属造 t>4	38	運動施設ー建物-その他のもの一ブロック造38年 運動施設ー建物-その他のもの一金属造(骨格材の肉厚4mmを超えるもの)
	体育館等建築物	金属造 4>t>3	27	運動施設一建物-その他のもの一金属造(骨格材の肉厚3mmを超え4mm以下のもの)
	体育館等建築物	金属造 t<3	19	運動施設ー建物-その他のもの一金属造(骨格材の肉厚3mm以下のもの)
—f	トイレ躯体	SRC, RC	50	便益施設一便所一RC50年
-	トイレ躯体	コンクリートブロック	41	医生物一便所一ブロック造41年
更益施設	トイレ躯体トイレ設備	木造 給排水、衛生設備	24 15	便益施設一度TO
	水飲み	コンクリート	15	便益施設一建築物付属設備-給排水1o-
	クズ入れ・吸殻入れ 時計塔	金属(スチール) 金属(スチール)	18	便益施設-構築物-金属製18年 便益施設-建築物付属設備-電気設備-その他のもの15年
	サイン	木製	15	管理施設-構築物-木柱15年
	サイン サイン	銅材コンクリート	18 42	管理施設-建物付属設備-金属製18年を参考 管理施設-建築物-RCは40年
	接壁 接壁	コンクリート	50	管理施設-構築物-RC柱42年 展望台-構築物-鉄筋コンクリート造50年
	擁壁	コンクリートブロック	40	展望台ー構築物ー構築物ープロック造40年
	フェンス フェンス	金属(スチール)	18	管理施設-建物付属設備-金属製18年を参考 管理施設-構築物-鋳鉄製30年
	柵	鋼材	18	管理施設-建物付属設備-金属製18年を参考
	柵	擬木	42 39	管理施設-構築物-RC柱42年 建築物のLC評価用データ集(改訂第4版)を参考に設定
	柵	アルミ	24	建築物のLC評価用データ集(改訂第4版)を参考に設定
	手摺り	金属(スチール)	18	管理施設一建物付属設備一金属製18年を参考
	手摺り	ステンレス	39	建築物のLC評価用データ集(改訂第4版)を参考に設定 建築物のLC評価用データ集(改訂第4版)を参考に設定
	車止め	コンクリート	42	管理施設-構築物-RC柱42年
理施設	車止め	鋼材ステンレス	18	管理施設一建物付属設備一金属製18年を参考 建築物のLC評価用データ集(改訂第4版)を参考に設定
wux	車止め	アルミ	24	建築物のLC評価用データ集(改訂第4版)を参考に設定
	人孔、枡	コンクリート	20	下水道事業費補助一管路施設ーマンホール躯体20年を参考
	側溝 雨水·汚水管	コンクリート	20	下水道事業費補助一管路施設一管渠20年を参考
	止水栓、散水栓、量水器	金属(スチール)	15	便益施設-建築物付属設備-給排水15年を参考
	給水管 照明灯	金属(スチール)	15	便益施設一建築物付属設備-給排水15年を参考 管理施設一建物付属設備一金属製18年を参考
	引込柱	金属(スチール)	18	管理施設-建物付属設備-金属製18年を参考
	分電盤	金属(スチール) CV	15	管理施設一建物付属設備一電気設備ーその他15年
	ケーブル・保護管 管理事務所等建物	SRC, RC	50	管理施設 - 構築物 - 配電線30年 管理施設 - 建物 - 管理事務所 - 鉄骨鉄筋コンクリート50年
		ブロック造	41	管理施設-建物-管理事務所-ブロック造41年
	管理事務所等建物		100	
	管理事務所等建物	金属造 t>4 金属造 4>t>3	38	管理施設-建物-管理事務所-金属造(骨格材の肉厚4mmを超えるもの) 管理施設-建物-管理事務所-金属造(骨格材の肉厚3mmを超え4mm以下のもの)
		金属造 t>4 金属造 4>t>3 金属造 t<3 木造		管理施設・建物・管理事務所 - 金属造(骨格材の肉厚+mmを超えるもの) 管理施設・建物・管理事務所 - 金属造(骨格材の肉厚3-mmを超え4-mm以下のもの) 管理施設・建物・管理事務所 - 金属造(骨格材の肉厚3-mm以下のもの) 管理施設・建物・管理事務所 - 太盗24年

### a.四阿

主要部材	処分制限期間 の採用値	採用値設定の参照項目(施設細目)
木製•合成樹脂	22	休養施設一休憩所一木造22年

# ┙b.ぶらんこ

主要部材	処分制限期間 の採用値	採用値設定の参照項目(施設細目)
_	15	遊戯施設-構築物-金属製15年

## 」 c. 便所(躯体)

主要部材	処分制限期間 の採用値	採用値設定の参照項目(施設細目)
SRC, RC	50	便益施設-便所-RC50年

### 4. 公園施設長寿命化計画書の作成の方法

計画で作成する様式は、以下のとおりとする。

表紙

様式0 「公園施設長寿命化計画書」

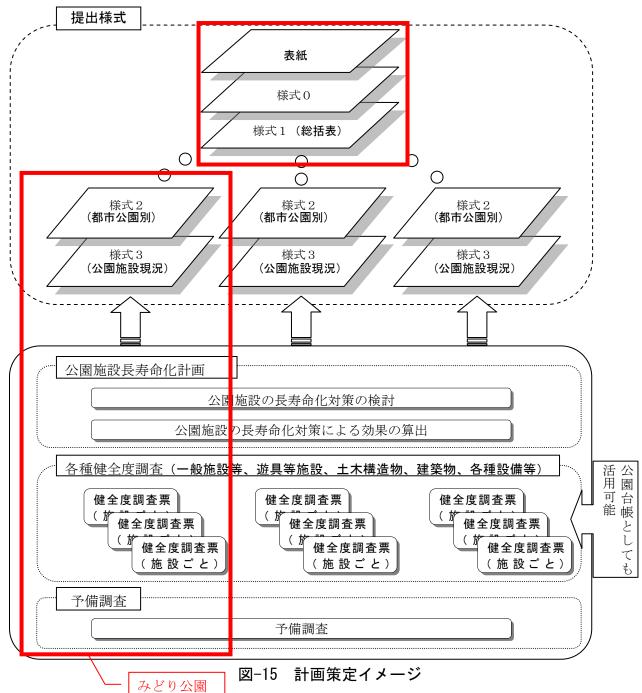
「公園施設長寿命化計画報告書」

様式1 「公園施設長寿命化計画調書」(総括表)

様式2 「公園施設長寿命化計画調書」(都市公園別)

様式3 「公園施設長寿命化計画調書」(公園施設種類別現況)

なお、記載内容については、指針の内容を理解した上で、様式 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 のつながりに留意しながら作成する。



# 白砂市公園施設長寿命化計画

平成25年 3月

〇〇県白砂市 公園緑地・景観課

#### 1. 都市公園整備状況

(平成25年3月末時点)

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
150	120. 00ha	10.00 m <sup>2</sup>

- 2. 計画期間 [平成25年度 ~ 平成34年度(10箇年)]
- 3. 計画対象公園

#### ①種別別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	都緑	その他	合計
90	20	5	1	1	20	13	150

#### ②選定理由

管理対象都市公園は、「都市公園法第2条に基づく都市公園(公園又は緑地)」と「白砂市が管理している、その他の公園・緑地」と設定する。

#### 4. 計画対象公園施設

#### ① 対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
830	180	945	420	80	5	220

管理施設	災害応急対策施設	その他	合 計
1,870	_	ı	4, 550

#### ② これまでの維持管理状況

これまで全ての公園施設(建築物、遊戯施設、公園施設等)を対象に、公園緑地・景 観課による維持保全(清掃・保守・修繕)と日常点検を行っている。

遊戯施設はこれらの管理に加え、国土交通省「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」及び社団法人 日本公園施設業協会(JPFA)が策定した「遊具の安全に関する規準 JPFA-S: 2008」に基づき毎年1回の定期点検を実施している。

この定期点検により危険箇所が発見された場合、緊急度の高いものから補修を行ってきた。

#### ③ 選定理由

本市の公園は設置から30年以上経過した公園が約3割を占め、10年後には約6割に達する見込みである。これまで公園施設の更新はほとんど行われておらず、公園施設の老朽化が顕在化してきている。今後は、財政的な制約からメリハリをつけたストックマネジメントを導入する予定だが、本計画については市民から施設の補修、もしくは更新の要望が多数出ているため、管理対象公園全てを計画対象公園とする。

計画対象公園については、公園施設の長寿命化対策により、公園機能の保全を図りつつ、ライフサイクルコストの削減を実現する。また、日常点検や定期点検による確認により、施設の安全性を維持する。

なお、本市では、公園施設長寿命化計画を平成23年度から平成24年度の2ヵ年で策定し、各年度の内容は次のとおりである。

	内容
平成 23 年度	・公園台帳の整理
	・予備調査の実施
	・遊具の安全点検の実施
平成 24 年度	・遊具の安全点検の実施と健全度・緊急度判定の実施
	・一般施設、建築物、土木構造物、設備等の健全度調査の
	実施及び健全度・緊急度判定の実施
	・全ての公園施設を対象とした公園施設長寿命化計画の策定

#### 5. 健全度を把握するための健全度調査結果の概要

点検調査は、平成24年9月から平成25年1月までの期間に実施した。

1. 一般施設、土木構造物、建築物

国交省の公園施設長寿命化計画策定指針に則り、健全度調査を実施した。

健全度調査は遊具を除く 4,130 施設のうち予防保全型管理の候補とした 250 施設について実施した。

a. 一般施設(100): A 判定: 5 施設、B 判定30 施設、

C 判定:60 施設、D 判定:5 施設(利用禁止とした)

- c. 土木構造物 (20): B 判定 10 施設、C 判定: 10 施設
- d. 建築物 (130): A 判定: 4 施設、B 判定 50 施設、

C 判定:75 施設、D 判定:1 施設(利用禁止とした)

#### 2. 遊具等

公園施設業協会の遊具の日常点検マニュアルに則り点検を行った。

遊具に関しては毎年の点検と修繕等により状態の悪い施設は減少傾向にある。

b. 遊具等 (420): A 判定: 40 施設、B 判定: 270 施設、

C 判定:100 施設、D 判定:10 施設(利用禁止とした)。

#### 3. 各種設備

法令等で点検が必要な施設について、点検を実施したが異常は確認されなかった。

#### 6. 日常的な維持管理に関する基本的方針

維持保全(清掃・保守・修繕)と日常点検は、公園緑地・景観課により随時実施し、公園施設の機能の保全と安全性を維持するとともに、施設の劣化や損傷を把握する。

公園施設の異常が発見された場合は、使用を中止し事故等を予防する。また、この時点で 健全度調査を実施し、補修、もしくは更新を判定する。

清掃等は、公園緑地・景観課によるもののほか、地域住民や各種団体等によるアダプトプログラムの活用を推進する。

- a. 一般施設等、c. 土木構造物等、d. 建築物等
  - ・日常点検で施設の劣化や損傷を把握した場合、利用禁止の措置を行う。また対象施設 の健全度調査を実施し、施設の補修、もしくは更新を位置づけた上で措置を行う。

#### b. 遊具等

- ・日常点検及び年1回実施する定期点検により施設の劣化及び損傷を把握する。
- ・施設の劣化や損傷を把握した場合、利用禁止の措置を行う。
- ・同年に実施する定期点検の結果を健全度調査として活用し、対象施設の補修、もしく は更新を位置づけた上で措置を行う。
- e. その他設備等
  - ・法で定める年1回実施する定期点検を健全度調査として活用する。

#### 7. 公園施設の長寿命化のための基本方針

#### 1. 予防保全型に類型した施設

- ・出来るだけ健全度がB時点で適切な長寿命化対策を実施し、施設の延命化を図る。
- ・事・予の類型は、ライフサイクルコストの算定結果を踏まえて確定する。
- ・毎年の定期点検を行う遊具や設備以外の公園施設(a.一般施設、c.土木構造物、d.建築物)については、5年に1回以上の健全度調査を実施し、施設の劣化損傷状況を確認する。
- ・次回以降の健全度調査の結果が、長寿命化計画で定めた内容と著しく乖離が生じた場合には、長寿命化計画の見直しを行う。

#### b. 遊具等、e. その他設備等

- ・日常点検及び年1回実施する定期点検により施設の劣化及び損傷を把握する。
- ・点検で施設の劣化や損傷を把握した場合、消耗材の交換等を行う他、必要に応じて 利用禁止の措置を行う。
- ・定期点検の結果を健全度調査として活用し、施設の補修、もしくは更新を位置づけ た上で措置を行う。

#### d. 建築物等

・100 ㎡を越える特殊建築物は法で定める3年に1回以上の定期点検を実施し健全度 調査として活用する。また、白砂市で定める建築物の補修、もしくは更新計画に従 い長寿命化対策を実施する。

#### 2. 事後保全型に類型した施設

- ・健全度調査を実施しないため、維持保全(清掃・保守・修繕)と日常点検で公園施設 の機能の保全と安全性を維持する。
- ・日常点検で施設の劣化や損傷を把握した場合、施設の更新を行う。

#### 3. 植栽の扱い

- ・各公園の植栽の特色等を踏まえ、植栽に係る管理目標を設定する。
- ・おおまかな植栽機能ごとに植栽地を分類し、分類ごとに管理目標、管理方法・頻度・ 費用等を設定する。

- 8. 都市公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期等
  - ※ 別添「公園施設長寿命化計画調書」(様式1「総括表」、様式2「都市公園別」、様式3 「公園施設種類別現況」)による。
- 9. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

今回長寿命化計画を策定した公園における 10 年間でのライフサイクルコスト縮減額は 6,000 千円である。

(総括表)	
公園施設長寿命化計画調書	
(様式1)	

(様式1)	公屋	]施設長	公園施設長寿命化計画調書(総括表)	(大三)														- 植栽の更新	
公園名	種別	供用年度	長寿命化を実施する公園施設	主な公園施設 設置年度 経過年数 <sup>極分制展期</sup>	な公園施 経過年数	調など	長寿命化対象 公園施設数	H25	H26	H27	H28	年次計画 H29	(費用) H30	H31	_ ღ	H33	H34/	単年度あた <sup>1</sup> イフサイクル 縮減額(千F	<u> </u>
みどり公園	额	H12. 7. 1	陸上競技場、橋、噴水、パーゴラ、四阿、便所、照明灯、管理事務所等	H12	12	期間内	30		1,000			2,000	[紫]	パーゴラ、便所、務所等の補修 務所等の補修 (種形・) (種形・) (種形・) (種所・2基重新	デ、管理事 を 語		1,000		09
こうようだい運動公園	<b>運</b>	S52. 7. 1	陸上競技場、野球場、ブール、便所、照 明灯、管理事務所等	S52	35	期間内	30				明の補修					30,000			30
ちゅうおう公園	型囚	860. 3. 5	野外ステージ、パーゴラ、四阿、便所、管理事務所等	098	27	便所及び 管理事務 所以外は 期間を過 ぎている	10			15,000									15
ひがしやま公園	型区	H21. 1. 30	//一ゴラ、四阿、便所、野鳥観察所、体 驗学習施設、練壁、転落防止柵、照明 灯、管理事務所等	H21	8	期間内	25				<b>電</b> 0	- MAステージ - 更新					1,000		25
にしかわ公園	型区	H10. 10. 30	橋(鋼橋)、藤棚、四阿、便所、管理事務 所等	Ē	13	期間内	25		1,000		明の補修			3,000		四阿,便用	光, 管理		18
															# 38 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	明年の神像	,		
まつざと公園	岩	859. 7. 1	シェルター、すべり台、ジャングルジム、シーソー、アスレチック等、便所等	\$59	28	期間を過ぎている	10		000,01	担	遊りの関連を対しています。				<u> </u>		ſ		9
すぎした公園	整型	H4. 7. 8	シェルター、すべり台、ジャングルジム、シーンー、バスケットゴール、便所	H4	20	期間を過ぎている	9	0000'9		ボ ス ス				2000		便所の補修			- ∞
うめもと公園	岩羅	H13. 3. 30	四阿、すべり台、コンビネーション、便所、照明灯、引込柱	H13	=	期間内	18				1,000		<u> </u>		ſ				12
のはら公園	岩羅	H9. 5. 8	四阿、藤棚、すんり台、ブランコ、シーソー、便所	6Н	5	遊具は期間を過ぎている	ω					3,000		点 () () () () () () () () () () () () ()					6
さつき公園	色図	H10. 10. 30	ブランコ、すべり台	H10	41	期間内	2							4,000					0
あじさい公園	色	H18. 3. 27	健康遊具、照明灯、引込柱	H18	9	期間内	ω									000'1			8
かまきり公園	鱼区	S58. 6. 20	砂場、ブランコ、すべり台、鉄棒	S58	29	期間を過ぎている	4						4,000						0
あげは公園	街区	350. 3. 21	砂場、ブランコ、すべり台、鉄棒	S55	32	期間を過ぎている	4				10,000								0
かぶとむし公園	鱼区	854. 3. 1	砂場、ブランコ、すべり台、鉄棒	S54	33	期間を過 ぎている	4	3,000											0
くわがた公園	街区	857. 9. 4	ブランコ、すべり台	S57	30	期間を過ぎている	2		5,000										0
たんぽぽ公園	鱼	H12. 3. 21	ブランコ、すべり台	H12	12	期間内	2								3,000				0
ひばり公園	色図	S43. 5. 26	コンビネーション、ブランコ、照明灯、引 込柱	H14	10	期間内(更 新済み)	7					1,000					5,000		8
おまばと公園	鱼区	S54. 3. 1	ブランコ、すべり台、鉄棒、	S54	33	期間を過ぎている	ю	3,000											0
森林公園	作 出	H11. 7. 1	バンガロー、便所	H11	15	期間内	12					3,000							20
歴史公園	か 6	H15. 5. 10	展望台、四阿、便所、照明灯、引込柱	H15	6	期間内	10							2,000					10
								30,000	28,000	70,000	15,000	15,000	20,000	32,000	20,000	20,000	20,000	日十009	F
59												'   	概;	概算費用合計	 #= /II	300	300,000	(年円)	1

#### (様式2)公園施設長寿命化計画調書 (都市公園別)

公園名:総合公園 みどり公園 供用年度:平成2年4月

												_		1				公園名:総計	合公園 みどり	万国 共用	牛皮:干灰2牛	4/7	
公園施設種類	公園施設名	具体的 施設名称	規模等	主要部材		圣過 処: 手数 期			健全度調査 劣化状況	緊急度	管理類型		ナた具体的対策 改築・更新の考え方等) 福修	対策を踏まえた 更新見込み年度	1105	H26	H27	対策 H28	使内容(改築、 H29			H32	нзз нз4
園路広場	舗装	舗装	1,000㎡	洗い出し コンケリート	H2	22	15	平度 H24		中中	事後	程で本王 ・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。劣化や損傷が全体的に顕著(舗装面積の1/2以上)となった時点で更新する。 ・処分制限期間の2倍を使用見込み期間とする。		H32年度	HZS	HZ6	H27	H28	H29	нзо	H31	10,000 更新	H33 H34
園路広場	舗装	舗装	400m²	コンクリート 平板	H2	22	15	H24	-	ф	事後	・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。劣化や損傷が全体的に顕著(舗装面積の1/2以上)となった時点で更新する。 ・処分制限期間の2倍を使用見込み期間とする。		H32年度								4.400 更新	
園路広場	舗装	舗装	300 m²	タイル張り舗装	H2	22	15	H24	-	ф	事後	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。劣化や損傷が全体的に顕著(舗装面積の1/2以上)となった時点で更新する。 ・処分制限期間の2倍を使用見込み期間とする。		H32年度								7,200 更新	
園路広場	階段	階段	20段	タイル張り舗装	H2	22	15	H24	-	ф	事後	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。劣化や損傷が全体的に顕著。面積の1/2以上)となった時点で更新する。 ・処分制限期間の2倍を使用見込み期間とする。		H32年度								1,800 更新	
園路広場	階段	階段	2段	擬石階段 プロック	H2	22	15	H24	-	中	事後	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。劣化や損傷が全体的に顕著(面積の1/2以上)となった時点で更新する。 ・処分制限期間の2倍を使用見込み期間とする。		H32年度								180 更新	
修景施設	植栽	植栽	2,000 m²	雑木林の 樹林地	H2	22	-	H24	-	-	-	<b>塩井け東, 予の</b>	・樹木の間伐により植栽密度を1/3に低下させ、樹林の密度調整と健全な生育環境に回復を図る。 ・H34年度に10本更新する。	-	150 枝打等	150	3,000 間伐	150	150	150	150	150	150 1,00 更新
修景施設	植栽	植栽	400 m²	外周植栽	H2	22	-	H24	-	-	-	植栽は事・予の類型としない	・視界の確保を優先し、樹高0.8m程度で維持する。 ・刈込や、病害虫の防除等の保全的な管理を実施する。	-	30 刈込等	30	30 刈込等	30	30	30	30	30	30 3
修景施設	噴水	噴水	1式	RC、タイル・自然石	i H2	22	15	H24	健全度D ・全体的に劣化が著しく使用中止中。	高	予防		・速やかに機能更新を行うとともに、定期的な補修により施設の長寿命化を図る。 ・処分制限期間の2.4倍を使用見込み期間とする。	H25年度		30,000 更新		1,000 初期不良<	の対処				
休養施設	四阿	四阿	1基 (12㎡)	木	H2	22	22	H24	健全度B ・屋根材、木部の劣化が進行	低	予防	<ul><li>・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。</li></ul>	劣化や損傷が全体的に顕著(鷹朽等)となった時点で木部の保護塗装、鋼材の塗替塗装を定期的に実施する。 ・処分制限期間の1.8倍を使用見込み期間とする。	H42年度	600 保護塗装								
休養施設	パーゴラ	パーゴラ	3基 (15㎡)	鋼材、 木(ルーバー)	H2	22	27	H24	健全度B ・支柱・梁部に腐食有り	低	予防	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。	劣化や損傷が全体的に顕著(腐食等)となった時点で鋼材の塗替塗装を実施する。 ・処分制限期間の1.8倍を使用見込み期間とする。	H50年度	100 素地調整塗業	ŧ							
休養施設	ベンチ	ベンチ	15基	鋼材、木(座面)	H2	22	15	H24	-	ф	事後	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。 - 劣化や損傷が全体的に顕著(腐食等)となった時点で更新する。 - 処分制限期間の2倍を使用見込み期間とする。		H32年度								5.250 更新	
休養施設	ベンチ	ベンチ	7基	木	H2	22	7	H24	-	中	事後	・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。 ・劣化や損傷が全体的に顕著(厳朽等)となった時点で更新する。 ・H12年度、H22年度更新済み。これまでの実績により10年間で更新する。		H32年度								2,450 更新	
遊戯施設	ぶらんこ	ぶらんこ	1基	鋼材	H2	22	15	H24	健全度B ・吊り部材の腐食著しいため交換要	低	予防	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。 - 吊り金具・チェーン・座席交換	- 年1回実施する定期点検で劣化や損傷を確認する。 ・劣化や損傷が全体的に顕著(腐食等)となった時点で更新する。	H32年度	238 消耗品交換							900 更新	
遊戯施設	滑り台	滑り台	1基	鋼材	H2	22	15	H24	健全度B ・支柱・顕場固定ボルト腐食有り	低	予防	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。 - 支柱研磨塗装、ポルト交換	<ul> <li>・日常の維持保全及び日常点検、年1回実施する定期点検で劣化や損傷を確認する。劣化や損傷が全体的に顕著(腐食等)となった時点で更新する。</li> <li>・支柱研磨塗装、ボルト交換</li> </ul>	H32年度	85 消耗品交換							500 更新	
遊戯施設	複合遊具	複合遊具	1基	鋼材+FRP	H2	22	15	H24	健全度B ・主に樹脂の損傷が激しいため、修繕要す	低	予防	・日常の維持保全及び日常点検、年1回実施する定期点検で劣化や損傷を 確認する。劣化や損傷が全体的に顕著(変形等)となった時点で更新する。 ・パネル・ボルト交換。	<ul><li>・年1回実施する定期点検で劣化や損傷を確認する。</li><li>・劣化や損傷が全体的に顕著(変形等)となった時点で更新する。</li></ul>	H32年度	510 消耗品交換							5,000 更新	
遊戯施設	砂場	砂場	10m²	コンクリート	H2	22	15	H24	健全度A ・正常。ハザード対応済み。	低	予防	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。	・・年1回実施する定期点検で劣化や損傷を確認する。 ・劣化や損傷が全体的に顕著(ひび割れ等)となった時点で更新する。 ・処分制限期間の2.4倍を使用見込み期間とする。	H32年度								1,150 更新	
遊戲施設	スプリング 遊具	スプリング 遊具	2基	FRP	H2	22	15	H24	健全度B ・スプリングの劣化が著しいため、交換が必要。	低	予防	・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。 ・コイル交換。	・年1回実施する定期点検で劣化や損傷を確認する。 ・劣化や損傷が全体的に顕著(亀製等)となった時点で更新する。	H32年度	170 消耗品交換							270 更新	
運動施設	競技場	陸上競技場 (トラック)	1式	ウレタン舗装	H2	22	10	H24	健全度A +H12年度、H22年度に補修済み。	低	予防		・補修工法として、オーバーレイを10年ごとに2回、実施する。 ・これまでの実績により、使用見込み期間を30年とする。	H32年度								45,900 更新	
運動施設	プール	プール	1式	RC	H2	22	30	H24	健全度B ・壁面に軽微なひび割れが見られる。	低	予防	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。	- 劣化や損傷が全体的に顕著(漏水等)となった時点で補修を行う。 ・処分制限期間の1.8倍を使用見込み期間とする。	H56年度	防水00								
便益施設	水飲み場	水飲み場	3基	擬石 コンクリート	H2	22	15	H24	-	ф	事後	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。 ・劣化や損傷が全体的に顕著(刺離・鉄筋露出等)となった時点で更新する。 ・処分制限期間の2倍を使用見込み期間とする。		H32年度								350 更新	
便益施設	トイレ	トイレ	1棟	RC	H2	22	50	H24	健全度B ・屋根材および外壁の劣化進行が見られる。	低	予防	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。	・劣化や損傷が全体的に顕著(表面刺離等)となった時点で補修を行う。 ・処分制限期間の1.2倍を使用見込み期間とする。	H62年度			750 内部·外部	屋根補修					
便益施設	駐車場	駐車場	500 m²	アスファルト	H2	22	10	H24	-	高	事後	・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。 ・劣化や損傷が全体的に顕著(舗装面積の1/2以上)となった時点で更新する。 ・処分制限期間の2倍を使用見込み期間とするが、その期間を越えており、 かつ劣化も進行しているため速やかに更新する。		H25年度	2,000 更新								
管理施設	管理事務所	管理事務所	1棟 (600㎡)	RC	H2	22	60	H24	健全度B ・外壁及び屋上、内部仕上げに劣化損傷が見られる。	低	予防	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。	・劣化や損傷が全体的に顕著(刺離・鉄筋露出)となった時点で補修を行う。 ・処分制限期間の1.2倍を使用見込み期間とする。	H62年度	5,500 躯体·屋根補	\$							
管理施設	橋	橋	1橋 (L=12m、 W=4m)	上部工:鋼材+木 下部工:RC	H2	22	50	H24	健全度C ・木部(高欄、床)の破損、鋼材の塗装劣化が見られる。	高	予防	<ul><li>・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。</li></ul>	・本部は劣化や損傷が全体的に顕著(腐食)となった時点で部分更新、鋼材は再塗装を行う。 ・処分制限期間の1.2倍を使用見込み期間とする。	H62年度	480 高欄補修				2,000 秦地調整塗装	- Series			

	1				1 1				1			1										$\overline{}$	$\neg$
管理施設	擁壁	擁壁	200m (H=4.0m)	コンクリート	H2	22	50 H24	健全度B ・壁面に軽微なひび割れが見られる。	低	予防	・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。	・劣化や損傷が全体的に顕著(ひび割れ等)となった時点で補修を行う。 ・処分制限期間の1.2倍を使用見込み期間とする。	H62年度										
管理施設	フェンス	フェンス	300 m²	鋼材	H2	22	18 H24	-	低	事後	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。劣化や損傷が全体的に顕著(腐食)となった時点で更新する。 ・処分制限期間の2倍を使用見込み期間とする。		H38年度										
管理施設	車止め	車止め	10基	アルミ	H2	22	24 H24	-	低	事後	<ul> <li>・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。劣化や損傷が全体的に顕著(亀裂等)となった時点で更新する。</li> <li>・処分制限期間の2倍を使用見込み期間とする。</li> </ul>		H38年度										
管理施設	照明灯	照明灯 (Aゾーン)	20基	鋼材	H2	22	18 H24	健全度B ・部分的に塗装劣化が進行している。	低	予防	- 日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。	・劣化や損傷が全体的に顕著(断面欠損等)となった時点で再塗装を行う。 ・処分制限期間の2.4倍を使用見込み期間とする。	H45年度				100	100 素地調整塗装					
管理施設	照明灯	照明灯 (Bゾーン)	20基	鋼材	H2	22	18 H24	健全度B ・部分的に塗装劣化が進行している。	低	予防	・劣化や損傷が全体的に顕著(断面欠損等)となった時点で再塗装を行う。	・劣化や損傷が全体的に顕著(断面欠損等)となった時点で再塗装を行う。 ・処分制限期間の2.4倍を使用見込み期間とする。	H45年度				<del></del>	100 長地調整塗装					
管理施設	照明灯	照明灯 (Cゾーン)	20基	鋼材	H2	22	18 H24	健全度C ・全体的に塗装劣化が進行している。	Ф	予防	・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。	・劣化や損傷が全体的に顕著(断面欠損等)となった時点で再塗装を行う。 ・処分制限期間の2.4倍を使用見込み期間とする。	H45年度	***	100 素地調整塗装	ŧ							
																						=	
災害応急 対策施設	備蓄倉庫	備蓄倉庫	1棟	СВ	H2	22	41 H24	健全度C -屋根に欠損が見られる。	ф	予防	・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。	・劣化や損傷が全体的に顕著(ひび割れ等)となった時点で補修を行う。 ・処分制限期間の1.2倍を使用見込み期間とする。	H51年度	100 防水									
その他	展望台	展望台 (25㎡)	1基	RC	H2	22	50 H24	健全度B ・屋根防水、外壁に劣化損傷が見られる。	低	予防	<ul><li>・日常の維持保全及び日常点検で劣化や損傷を確認する。</li></ul>	・劣化や損傷が全体的に顕著(ひび割れ等)となった時点で補修を行う。 ・処分制限期間の1.2倍を使用見込み期間とする。	H62年度										1,000
														10,000	6,000	6,000	1,000	6,000	1,000	1,000	70,000	1,000	6,000

<sup>※「</sup>公園施設種類」には、都市公園法第二条第二項で規定する施設名称を記す。(「園路及び広場」、「修景施設」、「休養施設」、「依護施設」、「複数施設」、「複差施設」、「便益施設」、「停理施設」、「存地の施設」)
※「公園施設名」には、都市公園法第二条第二項及び同法施行令第五条、同法施行規則第一条の二で規定する施設名称を記す。(「日陰たな」、「休憩所」、「ベンチ」、「ぶらんこ」、「滑り台」、「野球場」、「体験学習施設」、「使所」、「備蓄倉庫」等)

概算費用合計(千円):

108,000